

事業名：農業振興資金貸付事業

【事業番号 35】
農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	昭和45年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に住所を有し、且つ、農業振興地域の整備に関する法律（農振法）に基づく農用地区域内に経営地を有する農業者

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	総農家数	世帯	398	398	335	398
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

融資機関（農協）が農業者に貸付ける振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。
 ◎ 1～5号資金
 市が農協に融資額の1/2を預託
 ◎ 6号資金
 市が農協に融資額の2/3を預託

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	新規貸付件数	件	0	0	0	5
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	0	5,000

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・機械等の導入実現のため、国・道の制度資金を補完する融資事業であり、低利で利用しやすい貸付資金の提供により、施設・機械等を導入しやすくし、農業者の農産物の生産性の維持・向上、農業所得の向上、農業生産の基盤強化を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	施設・機械等の導入数	件	0	0	0	5
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	3,116	1,080	533	5,267
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,922	1,907	1,901
総事業費 (A+B)		千円	5,023	3,002	2,440	7,168

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠1件、新規枠0件）533千円	

事業開始背景	
昭和45年度、農業者の自立安定経営のため、国、道等の制度資金を補完する融資事業として、農産物の生産性や所得の向上を図るために開始した。	
事業を取り巻く環境変化	
国、道等の制度資金は見直しが行われ、融資内容は充実してきたものの、貸付条件・手続等の理由により、大口での利用以外は利用しにくいのが現状である。一方、農業を取り巻く環境は、海外農産物の輸入増加などで年々厳しくなっており、農業経営の改善を進める上で振興資金の提供は今後も必要となってくる。	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 →
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
国の補助事業や農協での融資の幅が拡充され、金利も低く推移しており、振興資金を利用しなくとも低利率の民間融資が提供されている。また、積極的な融資を促すものではなく、補助事業や民間の融資で融通できなかった農業者が、この資金を利用して必要最小限の投資を行うセーフティーネットであり、該当案件は減少している。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 →
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
農業経営には多くの経費が必要となり、新たに積極的な投資を行うことは難しく、助成条件を見直したとしても、現状と同様に農業活動に見合った必要最小限の投資となることに変わりはないと考えられる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠 →
	なし	
現状のところ、金融機関へ原資を預託する形態をとっていることから、直接的な支出が生じておらず、コスト面では負担の少ない手法だと考えられる。		

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の下水道が整備されていない地域の農業者

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	総農家数	世帯	398	398	335	398
対象指標 2	下水道認可区域外の世帯	世帯	1,553	1,554	1,523	1,550

手段（事務事業の内容、手法）

農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用）としての原資の一部として融資機関に無利子で預託を行うことにより農業者への貸付利率の低減を図る。
※生活環境部環境室では、合併処理浄化槽の助成金制度があり、設置に係る費用の一部（基準助成額）の概ね4割を国費、道費、市費で助成しており、設置費用残額（上限あり）を農業振興課で貸付するものである。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	新規貸付件数	基	0	0	0	2
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	0	1,450

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	設置基数	基	0	0	0	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	1,450
正職員人件費 (B)		千円	381	384	381	380
総事業費 (A+B)		千円	381	384	381	1,830

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用）融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠0件、新規枠0件）0千円	

事業開始背景
平成8年度より公共下水道の整備されていない地域の水洗化、公共用水域の水質汚濁防止の推進を図るための合併処理浄化槽の設置に係る助成金制度が実施され、これを補完する事業として、設置費用の残額に対する貸付を行っている。
事業を取り巻く環境変化
助成金制度の補助世帯数は減少傾向にあり、貸付については令和元年度で終了した。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由根拠 住宅建設と並行して整備する場合、住宅の融資とまとめて融資を受ける事例もある。また、近年では浄化槽の整備が進んでいることから、申請は少ない。
	理由根拠	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由根拠 貸付条件を見直したとしても、必要最小限の投資となることには変わりない。
	理由根拠	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある なし	理由根拠 現在、農業振興資金の原資を預託しており、直接の支出を生じていないので、負担の少ない手法である。
	理由根拠	

事業名：鳥獣被害防止対策事業

【事業番号 40】
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業被害等をもたらす鳥獣

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	対象鳥獣	種類	4	4	5	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

鳥獣被害対策実施隊を設置するなど、関係機関との連携により対策を講じる。また、「有害鳥獣駆除助成事業補助金交付要領」に基づき、鳥獣被害防止対策を行う団体等の事業に対して補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	鳥獣被害対策実施隊出動数	回	299	194	249	272
活動指標 2	鳥獣被害対策実施隊派遣数	人(のべ)	556	387	481	510

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

鳥獣による農業被害を減少させる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	鳥獣捕獲数	頭・羽	130	167	163	190
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	0	57	65	65
正職員人件費 (B)		千円	2,669	2,690	2,670	2,661
総事業費 (A+B)		千円	2,669	2,747	2,735	2,726

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	鳥獣による農業被害拡大防止のための捕獲活動等	捕獲活動等経費	65千円 このほか、江別市鳥獣被害防止対策協議会へ直接交付される国費を活用

事業開始背景

ペットとして持ち込まれたアライグマが野生化し、農産物への被害が問題化した。アライグマは繁殖力が強く、毎年駆除し続ける必要がある。平成14年度まで、道央農業協同組合が捕獲したものは研究材料として、酪農学園大学に無償で引き取られていたが、平成15年度から有償となったため、処理経費の一部を市で助成することとなった。

事業を取り巻く環境変化

エゾシカ等の鳥獣による農業被害が増えている状況を受け、平成25年10月、鳥獣被害防止特措法に規定される被害防止計画を策定し、関係機関の連携により協議会を組織し、対策を講ずることとした。平成26年度以降は国の補助事業を活用し、協議会による鳥獣の捕獲を進めてきたところだが、近年、全国各地で同補助金の不正受給の事例が相次いだため、協議会による適正事務がより一層求められるようになった。令和元年度に市内でヒグマが出現したことを受け、交付税措置の対象とするため、令和2年4月、市の鳥獣被害防止計画の対象鳥獣として新たにヒグマを追加した。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>最も大きな農業被害をもたらすエゾシカに対しては、発生が多い地区において集中的な罠がけを行ったことで、当初計画以上の頭数を捕獲することができた。その他獣種についても捕獲効率の高い実施場所の選定等を行ったことで順調に捕獲できている。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>罠がけの講習会の開催等新たな担い手の確保等にも努めており、活動規模は維持できている。一方で対象が野生鳥獣であるため、群れの移動等で市内の生息数が変動すること等から、捕獲頭数は一定の水準で横ばいとなっている。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>国の交付金を活用した鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動がメインであり、市の支出は必要最低限となっている。</p>

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業		戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進		具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	882	924
対象指標 2	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883

手段（事務事業の内容、手法）

〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。
 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。
 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	2,125	1,847	1,583	1,583
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	610	700	610	700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	特産品の認知回数	品目	2	2	2	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	2,735	2,547	2,193	2,283
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	3,815	3,801
総事業費 (A+B)		千円	6,549	6,391	6,008	6,084

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小麦生産団体への補助 ・和牛生産団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 1,583千円 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 610千円 	

事業開始背景	
<p>小麦品種「ハルユタカ」は全国的に知名度があり、特に江別産のイメージが強く、ブランド化できる品種として有望である。しかし、「ハルユタカ」は収量が不安定なことから、全道的に収穫量が減少し、これに伴って種子生産量も減少した。市内の作付面積確保には種子を自前で用意する必要がある。本事業では種子不作時の補てんを目的とした基金を設立し、種子生産拡大を誘導することによって「ハルユタカ」生産量の拡大を目指すこととした。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>黒毛和牛については、飼料価格や素牛価格の高騰、枝肉取引価格の下落等、肉牛生産農家は厳しい状況に直面している。中力系小麦品種「きたほなみ」は、パンやラーメンでは「ハルユタカ」のブレンド用粉として使用され、うどんやお菓子にも使用されている江別産小麦製品として無くてはならない品種だが、現行の国の農業政策である経営所得安定対策においては、パンや中華麺用の強力・超強力系品種への交付金に加算措置を設けるなどの作付誘導策がとられており、市内においても「ゆめちから」をはじめとした強力・超強力系品種へ作付をシフトする生産者が増加し、「きたほなみ」の収量確保が困難となる可能性が出てきた。</p>	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>成果指標は、すでにブランディングされている小麦「麦の里えべつ」と黒毛和牛「えぞ但馬牛」の2品目で横ばいだが、小麦で加工品に欠かせない小麦品種「きたほなみ」の一定確保につながり、全道の黒毛和種の上物率（枝肉格付けA-5・A-4の割合）は72.0%に対し、江別の黒毛和種「えぞ但馬牛」は77.8%となっていることから、成果は向上していると考えられる。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>事業を継続し、小麦品種や黒毛和種の安定供給を図ることで、製品の拡大や付加価値の向上につながる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>現在の飼料価格や素牛価格の高騰、さらに、国の強力粉加算の動向等を踏まえると、市内で生産される黒毛和牛や小麦品種の安定供給には、現状の支援を継続していく必要がある。</p>		

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生及び市民

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,654	8,674
対象指標 2	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883

手段（事務事業の内容、手法）

- ・生産者等を講師に小中学生を対象とした農業体験及び加工体験を実施する。
- ・食育を推進するための協議会を開催する。
- ・農業者団体が実施する消費者との交流活動の事業費を補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	農業体験学習等延べ実施回数	回	56	54	44	50
活動指標 2	食育推進協議会開催回数	回	1	0	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

「食」についての共通認識のもと、次代を担う小中学生や消費者に、「食ること」の大切さと「地域農業」に対する理解を深めてもらう。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	農業体験学習等延べ参加者数	人	2,939	2,918	2,445	3,042
成果指標 2	参加者の「食」及び「農業」に対する関心度	%	97.2	95	100	100

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	4,067	4,020	2,329	3,932
正職員人件費 (B)		千円	7,246	7,303	7,248	7,222
総事業費 (A+B)		千円	11,313	11,323	9,577	11,154

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生食育事業（農業体験学習等・一部委託） ・中学生食育事業（出前授業・レシピコンテスト） ・学校給食への地場産牛乳の提供 ・農業者団体が実施する農業体験への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生食育事業費 1,917千円 ・中学生食育事業費 140千円 ・地場産農産物導入支援 73千円 ・農業体験への補助 80千円 	

事業開始背景	
<p>生活様式の多様化や食の消費及び供給構造が大きく変化する昨今、「食」の安全・安心に対する関心が非常に高まっている。このような背景のなか、江別市では平成13年度より小学校などを対象とした農業体験学習を実施してきたところである。</p> <p>更に、平成17年度には、国の食育基本法の施行に先行して、江別市食育推進協議会を設置し、食育推進ボランティアの育成、地産地消の推進、「食」と「農」の体験学習など、地域の特性を活かした食育のあり方を検証しながら実施してきた。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>食育基本法の施行に伴い、平成23年度に江別市食育推進計画（平成26年度から第2次計画・平成31年度から第3次計画）を策定し、多様な主体による連携・協働、ライフステージごとの食育を推進している。</p> <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて、市内小中学校が一時休校となり、一部の農業体験学習を中止した。</p>	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>産学官連携の組織である食育推進協議会による食育事業や、市内農家による食育活動が各機関で評価を受けるなど、江別市内にとどまらず、広くその取り組みが知られている。</p> <p>また、小学校だけでなく中学校を対象とした事業もひろがり、世代にあわせた食育や家庭を巻き込んだ食育事業を展開している。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>市内の希望校数が増加している中で、受け入れ先の農家や機関等を維持、継承することが必要である。</p> <p>また、事務局以外の実施主体を確保することで、より多くの小中学生が体験する機会を設けることができる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>すでに一部業務を外部委託しているため、これ以上のコスト削減は難しい。</p>		

事業名：都市と農村交流事業

【事業番号 764】
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業		戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進		具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	882	924
対象指標 2	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	イベント開催回数	回	17	15	6	15
活動指標 2	各部会等開催回数	回	10	8	7	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産者と消費者との相互理解を深め、グリーンツーリズム関連施設（農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など）の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	614,959	596,862	545,905	597,000
成果指標 2	イベント参加者の満足度	%	100	100	100	100

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	1,130	1,010	976	1,700
正職員人件費 (B)		千円	5,339	5,381	5,340	5,321
総事業費 (A+B)		千円	6,469	6,391	6,316	7,021

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助（協議会の事業内容：直売所MAP作成、831の日キャンペーン開催、農畜産物加工品ブランド認証、加工品フェア開催、加工研修会開催など） 6次産業化支援のための農業者等への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会への補助 農畜産物加工新商品開発等支援補助金 	634千円 342千円

事業開始背景
農業への関心を高めてもらう機会を提供する場として、産地直売所や貸し農園（観光農園）などを通じた「まち」と「むら」のふれあい交流・体験活動を行っていることと市内の産地直売所17ヶ所と貸し農園6ヶ所により、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が平成17年5月24日に設立された。
事業を取り巻く環境変化
消費者との交流を図りながら、ニーズに応えた活動を展開している。令和2年からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人流の抑制等が求められる状況にあり、多くの人を集めるイベントの実施が困難な状況にある。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）			
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市外、道外からの来客が多かった施設では利用者数は大きく減少した。また、イベントについても多くが開催困難となった。一部イベントは感染対策を取ったうえで開催したが、密にならないよう主催者・参加者の人数制限を行う等の措置が必要であったため、指標である施設利用者数は減少した。実施したイベントについては引き続き高い満足度を得ている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？			
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	新型コロナウイルス感染症対策として、人流抑制が求められる状況下では、利用者数増は難しい状況であるが、引き続き様々な手法での情報発信等を継続して実施していくことが重要だと考える。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
コスト	ある	理由根拠	各種イベント等の開催に係る必要最低限のコストで実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。
	なし		

事業名：酪農経営安定技術高度化支援事業

【事業番号 997】
 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内酪農家

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	酪農家戸数	戸	37	37	37	37
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・「産学官連携畜産技術高度化促進支援事業実施要綱」に基づき、江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対して補助を行う。（補助率1/2以内）
- ・「酪農ヘルパー支援事業実施要綱」に基づき、酪農ヘルパー人件費の一部に対して補助を行う。（補助率1/2以内）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,177	1,158	700	1,050
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産性の向上と就業環境の整備が図られ、持続可能で安定した酪農経営ができる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	酪農家 1戸当たり乳量	t	580.7	571.8	605.9	571.8
成果指標 2	酪農ヘルパー利用延べ回数	回	284	444	560	444

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	1,177	1,158	700	1,050
正職員人件費 (B)		千円	5,339	5,381	4,577	5,321
総事業費 (A+B)		千円	6,516	6,539	5,277	6,371

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度	・酪農ヘルパーの人件費の一部に対して助成を行う。	・酪農ヘルパー人件費への補助 700千円

事業開始背景	
<p>本事業は、酪農家の経営安定と技術の高度化を図るという共通の目的をもった2つの事業（産学官連携畜産技術高度化促進事業・酪農ヘルパー支援事業）を統合したものである。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>継続的な酪農振興と経営の安定化を図るため、優秀な乳牛の優劣を競い合うとともに飼養管理技術の情報交換が必要である。また、家畜飼養の特殊性から農休日の確保が困難であり、担い手が定着しにくい状況となっていることから、酪農ヘルパー事業を積極的に支援することによる酪農業後継者の育成・確保に適した環境の整備が必要となっている。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、人流抑制が必要となりホルスタインショウの開催が難しい状況となっている。</p>	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度のホルスタインショウは中止となったが、これまでの事業補助効果の蓄積により、乳量の増加等の成果も上がっている。酪農ヘルパーの利用も進んでおり、酪農家の負担軽減につながっている。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>ホルスタインショウでの飼養管理技術の意見交換により、優良牛の育成は既に高いレベルに達しており、乳量に関しては大きく向上することは期待できない。ヘルパー利用数に関しては、ヘルパーの担い手不足が利用回数の制限要因となっているため、人員が確保できれば向上する余地がある。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>ヘルパー支援事業は、市の補助金が運営の大きな支えとなっており、削減されれば事業の実施が困難となる。また、江別市ホルスタインショウについても補助金を削減することにより、イベントの開催自体が困難になる。</p>

事業名：次世代就農定着サポート事業

【事業番号 1002】
農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	その他

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

就農予定者及び若手農業者

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	50歳未満農業者数（30年度まで45歳未満）	人	188	247	269	247
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

農業次世代人材投資資金（経営開始型）を支給し、就農直後の経営を支援する。
・江別市農業次世代人材投資事業（経営開始型）交付要領

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	農業次世代人材投資資金支給件数	件	10	11	14	15
活動指標 2	50歳未満の新規就農相談件数（30年度まで45歳未満）	件	4	4	5	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

50歳未満農業者の増加（30年度まで45歳未満）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	50歳未満農業者の割合（30年度まで45歳未満）	%	20.3	26.7	30.5	26.7
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	16,500	17,524	17,926	26,250
正職員人件費 (B)		千円	3,051	3,075	3,052	3,041
総事業費 (A+B)		千円	19,551	20,599	20,978	29,291

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	国の実施要綱に基づく農業次世代人材投資資金（経営開始型）の支給	農業次世代人材投資資金（経営開始型）	17,926千円

事業開始背景
<p>農業者の高齢化が進んでおり、持続可能な地域農業を実現するためには若い就農者の増加・定着が必要である。</p>
事業を取り巻く環境変化
<p>平成24年度から国の実施要領に基づく青年就農給付金（経営開始型）制度が運用開始された。対象の範囲や所得要件など毎年度内容が見直しされている状況にあり、平成29年度では、農業次世代人材投資事業（経営開始型）として見直し、今後も実態に即した改正が見込まれる。</p>

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> 
	<p>新規就農者は定着しており、今後も継続して就農者が見込まれる。</p>	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> 
	<p>新規就農者の定着に有効な事業ではあるが、国の制度であり、動向を注視する必要がある。</p>	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> 
	<p>当事業は国の制度に基づいて実施しているものであり、コストの削減は困難である。</p>	

事業名：農村環境改善センター維持管理費 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	昭和54年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農村環境改善センター

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

農村環境改善センターの維持・管理に要する経費

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	維持・管理経費	千円	3,056	2,598	2,514	2,451
活動指標 2	開設日数	日	329	326	293	330

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農村環境改善センターが適切に運営管理される。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	利用者数	人	2,923	1,875	878	2,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	3,056	2,598	2,514	2,451
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,153	1,144	1,140
総事業費 (A+B)		千円	4,200	3,751	3,658	3,591

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	農村改善センターの管理運営、維持修繕	・改善センター職員給与	799千円
		・光熱水費等	711千円
		・消防設備保守、浄化槽管理料等	501千円
		・修繕費等	368千円

事業開始背景
農業者のための農業経営の改善、農村生活の向上及び健康の増進を図るため、江北地区及び野幌地区に農村総合整備モデル事業により建設した。
事業を取り巻く環境変化
開設から40年以上が経過する中で、施設全体が老朽化しており、維持管理に問題が生じている。江北地区の農村環境改善センターについては、平成29年4月にオープンした都市と農村の交流センター（えみくる）に機能を移転した。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white;">上がっていない</p>	理由根拠
<p style="text-align: right;">新型コロナウイルス感染症の感染予防のため閉館した期間があり、年間総利用人数は減少した。</p>		
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠
<p style="text-align: right;">施設の老朽化が進行しているが、施設利用者に支障を来すことがないよう計画的な維持補修に努めることで施設の利便性は保たれており、新型コロナウイルス感染症の流行下においても一定の利用ニーズはあることから、今後の利用方法によっては成果の向上も可能であると考えます。</p>		
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white;">なし</p>	理由根拠
<p style="text-align: right;">施設全般の老朽化により、改修の必要箇所がほぼ毎年発生する状況であり、今後は大規模改修も視野に入れて検討を進める必要がある。</p>		

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

花き・野菜栽培技術指導センター

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

施設の運営管理を指定管理者に委託する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	9,479	9,567	9,655	9,655
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理運営を適切に行い、花き・野菜の生産振興の拠点機能を発揮させる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	管理運営上の不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	9,479	9,567	9,655	9,655
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,289	2,281
総事業費 (A+B)		千円	11,767	11,873	11,944	11,936

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	施設の運営管理を指定管理者に委託する。	指定管理料	9,655千円

事業開始背景
花き栽培に適した気象条件や流通条件を活かした特色ある都市近郊型農業を目指して、花きの研究開発や実証展示の拠点として設置した。
事業を取り巻く環境変化
18年度より指定管理者制度を導入。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>花き・野菜の生産振興の拠点としての施設機能が発揮されている。</p> <p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>適切な施設の管理運営により、現在の施設を最大限稼働させているため、成果が向上する余地は少ない。</p> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>施設の維持管理に係る必要最低限のコストで運営されているため、これ以上のコスト削減は難しい。</p> <p>ある</p> <p>なし</p>

事業名：排水路維持管理経費

【事業番号 5038】
農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成19年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業用排水路

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	排水路の数	条	59	59	59	59
対象指標 2	排水路延長	m	68,730	68,730	68,730	68,730

手段（事務事業の内容、手法）

江別市土地基盤整備事業規則に基づき床浚いは事業費の2/3、草刈は事業費の1/2を補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	3,522	2,054	2,891	5,972
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農業用排水路の排水能力を維持する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	排水路床浚い延長	m	1,265	1,100	1,310	1,470
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	3,665	2,054	2,918	6,011
正職員人件費 (B)		千円	1,525	2,306	2,289	2,281
総事業費 (A+B)		千円	5,190	4,360	5,207	8,292

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・第9次江別市排水路改修5ヶ年計画に基づき補助金を支出	・農事組合への補助金	2,891千円

事業開始背景	
<p>江別市の農業用排水路は昭和30年代を中心に造成された素堀水路が多く、経年劣化が著しいため、定期的に床浚い等の維持管理作業を行わなければならないことから、昭和51年に本事業を開始した。5年単位で計画を作成し、現在は第9次（平成29年度～令和3年度）である。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>本事業実施地区のうち7地区は平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に移行し、その中で維持管理作業を実施することとなった。その後、他地区でも多面的機能支払交付金（旧農地・水・環境保全向上対策）による維持管理作業が行われるようになったため、平成27年度から本事業実施地区は2地区（角山・協和）となった。</p>	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>5ヶ年計画に基づき毎年ヒアリングを実施し、予算内で最も効率が上がるように路線を選定していることから、期待どおりの成果が上がっている。</p>
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>すでに予算内で最も効率が上がるように路線を選定して実施していることから、更なる成果向上の余地はない。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>地元の工夫で床浚いは安価な時期に発注し、作業への参加や土砂置き場の提供等を行っている。また、草刈りも直営施行で行うなど地元の負担は大きく、高齢者が多い農村地区の現状を考慮するとコスト削減のためにこれ以上の負担増は厳しい。</p>

事業名：江別麦の会支援事業

【事業番号 6054】
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別麦の会

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	会員数	人	40	38	40	38
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別麦の会を円滑に運営する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	視察等対応件数	件	4	2	2	2
活動指標 2	会合回数	回	1	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産、加工、流通、消費、研究などに関わる各分野の交流を深めることで、麦の生産振興を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	事業数	回	0	1	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,907	2,306	2,289	2,281
総事業費 (A+B)		千円	1,907	2,306	2,289	2,281

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催 ・「江別麦の会」や江別産小麦等に関する取材対応 	人件費事業	

事業開始背景
平成10年の「焼き菓子コンペ」実行委員会により、地元産小麦の生産・消費振興活動を継続するため江別麦の会が結成された。
事業を取り巻く環境変化
江別小麦をめぐる活動が全国的に認められ注目されている。また、江別経済ネットワークなど他団体との交流が活発。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white;">上がっていない</p> <p>会の交流等により、栽培の難しい「ハルユタカ」の生産技術が確立され、高い需要に対し一定程度の供給ができるようになったこと、また、農商工連携による「江別小麦めん」の商品開発等が評価を得ており、「麦の里えべつ」を広くPRしている。一方で、小麦をめぐる環境が変化し、新たな課題も出てきていることから、麦の会の会合等での意見交換に留まっている。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 小</p> <p>これまで会の活動として各分野との交流を通じて、生産振興を図ってきた。今後も会の活動を通じて、意見交換等の交流を深め、生産振興を図っていくが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、人流のある事業の実施が困難な状況にある。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	理由根拠	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white;">なし</p> <p>本事業は、会の運営及び事業による人的交流の活性化を目的としており、人件費削減の考え方になじまない。</p>

事業名：江別の米で酒を造ろう会支援事業

【事業番号 6055】

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

酒米生産者及び市民

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	酒造好適米「彗星」作付農家戸数	戸	5	5	5	5
対象指標 2	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883

手段（事務事業の内容、手法）

江別産米を原料とした地酒を委託方式により醸造するため、生産・流通・販売に関する企画立案を支援する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	会合回数	回	2	2	1	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市内で生産された米を使用して、地酒「瑞穂のしずく」を造り、地酒のPRをするとともに、江別産米の消費を拡大する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	「瑞穂のしずく」販売量	リットル	10,195	9,793	8,548	13,308
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,288	1,537	2,289	2,281
総事業費 (A+B)		千円	2,288	1,537	2,289	2,281

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ぐい呑みプレゼントキャンペーンの実施 総会開催 「瑞穂のしずく」に関する取材対応 	人件費事業	

事業開始背景	
市内の米消費拡大を目的として地酒を開発するため「江別の米で酒を造ろう会」が発足した。	
事業を取り巻く環境変化	
平成21年からは「瑞穂のしずく」の酒粕を使用した商品も販売されているほか、平成27年からは「瑞穂のしずく」の無濾過生原酒を販売している。 近年の若者の日本酒離れによる消費の落ち込みに加え、令和2年からは新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で、飲食店需要の落ち込みが起こっている。	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための営業制限等により、飲食店での消費は大きく落ち込んだ。また、新酒発表会の中止等PRができなかったことも影響し、販売量は伸びなかった。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
全国的な飲酒の機会の減少やイベント自粛等の逆風が強く、短期的には消費量を拡大する余地は小さいが、「瑞穂のしずく」をPRしていくためには引き続き支援が必要な状況にある。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
会員の役割分担を明確にした必要最低限の人員費となっている。		

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	令和 2年度	区分1	廃止	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

花き・野菜栽培技術指導センター

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

施設設備の老朽化に対応するため、改修を行う。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	改修費	千円	0	0	0	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設本来の機能（育苗）を持続・発揮させて、生産者へ高品質苗の安定供給を行う。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	改修箇所数	箇所	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	施設設備の改修	令和2年度は改修工事なし	

事業開始背景

平成5年設立より20年以上が経過したため、育苗に必要な設備の経年劣化を補修し、安定的に苗の供給を行う。

事業を取り巻く環境変化

平成12年度から道央農協から受託し、野菜苗育苗を中心とする育苗事業を開始した。この野菜苗の育苗事業受託は現在も継続し実施している。
平成15年度から一般市民に花き・野菜苗を販売するガーデニングフェアを開催している。
令和3年4月1日付で、栽培棟を(株)フラワーテクニカえべつに売却。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：日本型直接支払交付金

【事業番号 6201】
農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農地・農業施設の保全等のために活動する組織

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	活動組織数	団体	9	9	9	9
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

活動組織に対して江別市多面的機能支払交付金事業交付要領に基づき交付金を支払う。
なお、国費分を含めた道費として交付金総額の75%が市に交付されるため、市の負担分は25%である。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	交付金	千円	190,145	189,312	189,114	189,146
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域の共同活動を支援することにより、農業・農村の有する多面的機能が適切に維持、発揮される。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	対象農用地面積	ha	5,898	5,898	5,897	5,898
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	190,296	189,510	189,237	189,276
正職員人件費 (B)		千円	5,720	5,765	5,722	5,702
総事業費 (A+B)		千円	196,016	195,275	194,959	194,978

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して交付金を支出	・多面的機能支払交付金事業交付金	189,114千円
		・保全情報記録システム使用料・回線費	123千円

事業開始背景

農業の持続的発展と農業施設の持つ農業以外の役割である多面的機能の発揮を図るためには、基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進する必要があるが、過疎化・高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、適切な資源の保全管理が困難となってきている。本事業は地域農業者を中心とした活動組織による農地、農業施設の保全管理を進めるだけでなく、非農業者の参画により新たな共同活動の仕組みをつくり、生産資源はもとより環境資源の保全活動を推進していくことを目的に開始された。

事業を取り巻く環境変化

農村地域の過疎化、高齢化により地域の農業者だけでは農業基盤施設の維持をしていくことが難しい状況になっていることから、非農業者の参画など地域だけではない新たな農村コミュニティの形成を目指していく必要がある。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>毎年一定額を支援することで、活動組織の活動が安定的に行われ、その中で経験を重ねてきたことにより、生産・環境資源の保全向上が年々図られてきている。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>現在ある9つの活動組織が活動することにより、一定程度の維持管理及び環境整備の向上が期待できる。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>事業費（交付金）は、対象農用地面積に単価を乗じたものとなっていることから、面積が変わらなければ事業費も変わらない。よって、コストを削減することはできない。</p>

事業名：6次産業化支援事業

【事業番号 6203】
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	882	924
対象指標 2	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883

手段（事務事業の内容、手法）

地域おこし協力隊による「都市と農村の交流センター」内に設置されたテストキッチンの操作指導等により、農業者の6次産業化を支援する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	協力隊員数	人	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

6次産業化の推進及びテストキッチンの利用促進を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	テストキッチン利用者数	人	278	214	213	220
成果指標 2	交流センター利用者数	人	23,595	26,718	13,802	19,000

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	2,369	2,367	2,502	2,562
正職員人件費 (B)		千円	763	769	763	760
総事業費 (A+B)		千円	3,132	3,136	3,265	3,322

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	テストキッチンの操作指導等による6次産業化の支援	・地域おこし協力隊報酬	2,280千円
		・活動用車両維持管理費	140千円

事業開始背景	
食の安心・安全への関心が高まる中で、6次産業化に取り組む農業者を支援し、新たな担い手の育成について支援していくことを目的に事業を開始した。	
事業を取り巻く環境変化	
江別の食と農の魅力発信や地域イベント等を通して都市部と農村地域の交流を図るため、平成29年4月に「都市と農村の交流センターえみくる」が開設した。 令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館や利用制限（人数や飲食不可）が必要となった。	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館や利用制限の実施に伴い、利用者数は減少した。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>機材の操作マニュアルや加工事例紹介等の発信を進めているが、コロナ禍の現状では新規利用者を開拓するための体験イベント等の実施も容易ではないため、短期的には利用者数の増加を図ることは難しい。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>地域おこし協力隊の活動経費のみで事業を実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。</p>

事業名：都市と農村の交流センター管理運営事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

都市と農村の交流センター

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

施設の管理運営を指定管理者に委託する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	21,816	22,018	22,220	22,306
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の管理運営を適切に行い、施設の効用を発揮させる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	利用者数	人	23,595	26,718	13,802	19,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	22,190	22,150	22,409	22,306
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,289	2,281
総事業費 (A+B)		千円	24,478	24,456	24,698	24,587

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料	22,220千円
		施設等修繕費	189千円

事業開始背景	
農村地域の中でも市街地からのアクセスが容易な旧江北中学校跡地を活用し、市内の農業者をはじめ多様な人的資源のネットワークにより、食と農の魅力を発信し、都市部の住民との交流の輪を市内全域、さらには札幌圏へと広げることを目指し、「食」と「農」により学びと活力を生み出す、新たな体験・交流拠点として設置した。	
事業を取り巻く環境変化	
平成29年度より指定管理者制度を導入。	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 ▶
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 ▶
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠 ▶
	なし	

事業名：江別経済ネットワーク事業

【事業番号 62】
商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標						
対象(誰、何に対して事業を行うのか)						
大学、研究機関、企業などから参加する経済ネットワークの会員						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標1	経済ネットワーク会員数	人	190	195	196	200
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)						
例会(講演、研究成果発表、情報交換等)の開催						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標1	経済ネットワーク例会開催回数	回	3	2	0	2
活動指標2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)						
例会などを通して参加者間の連携を進め、研究や事業活動を活性化する。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標1	例会参加者数	人	187	49	0	50
成果指標2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	59	22	0	56
正職員人件費(B)		千円	3,814	3,844	381	1,520
総事業費(A+B)		千円	3,873	3,866	381	1,576

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	・江別経済ネットワークの例会の開催(中止)	・江別経済ネットワーク講師謝礼 0円	・江別経済ネットワーク例会会場費 0千円

事業開始背景
大学や研究機関などが集積する環境を活かし、大学・研究機関・企業などからの参加者間の連携を進めることによって交流や共同研究を促し、新規産業の創出や既存企業の高度化などを図り、新製品の開発や雇用拡大につなげることを目的としている。
事業を取り巻く環境変化
平成14年の事業開始から、江別ブランド事典や江別小麦めんなど新しい取組が生まれた。近年は江別経済ネットワークをきっかけとした会員同士の交流が定着しており、同ネットワークを介さない取組みにもつながっている。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由 根拠
	当初予定していた例会が、新型コロナウイルスの影響により開催できなくなったため、例会開催回数と例会参加者数が減少した。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由 根拠
	新型コロナウイルスの影響により、これまでと同様の例会の開催が難しいが、開催方法を工夫することで、成果が向上する余地はある。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある なし	理由 根拠
	例会の実施にあたっては、必要最低限のもの以外を受益者負担でまかっている。また、人件費については、最小の人数で行っており、削減は難しい。	

事業名：企業立地等補助金

【事業番号 64】
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市において立地等(新設・増設・設備更新・本社機能移転)を検討している企業

指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標1 補助金交付企業数	社	9	11	11	10
対象指標2					

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づき補助金を交付
 対象：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設 ⑦コールセンター ⑧本社機能を有する事務所又は事業所
 種類：①立地補助金…家屋、償却資産の固定資産税相当額を交付
 ②雇用補助金…新規雇用者に対して、市内居住者は20万円(障がい者は20万円加算)、市外居住者は10万円を交付
 ③下水道使用料補助金…各月当たり500mを超える部分の年間使用料の1/2の額を交付
 ④設備更新補助金…償却資産のうち機械及び装置の固定資産税相当額を交付
 ⑤本社機能移転補助金…立地補助金、雇用補助金と同様の補助金を交付するほか、賃借する場合は賃料の1/2の額を交付

指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標1 補助金額	千円	78,934	65,302	61,238	51,256
活動指標2					

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市内へ企業が立地する。

指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標1 補助金認定件数(累計)	件	32	34	35	35
成果指標2					

事業費の推移	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)	千円	78,934	65,302	61,238	51,256
正職員人件費(B)	千円	3,814	3,844	3,815	3,801
総事業費(A+B)	千円	82,748	69,146	65,053	55,057

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
2年度	江別市企業立地等の促進に関する条例に基づき補助金を交付	立地等を行った企業への補助金 61,238千円

事業開始背景	
市民の雇用機会の拡大と税収増及び地域経済の発展・活性化を図るための市内への企業立地を促進すべく、事業を開始した。	
事業を取り巻く環境変化	
地方が少子高齢社会に対応しながら、持続可能で強い経済力を持った自主自立のまちづくりを進めるためには、企業等の立地による税収増や人口増を図ることが重要である。 新規立地の決め手の1つとなる助成制度は、目標とする企業のニーズを取り入れることが求められており、当市では食品関連産業の誘致を進めていることから、他産業と比した補助の投資要件の緩和や下水道使用に対する補助の新設などを行い、平成26年度から施行した。 また、変化する経済情勢や企業動向に対応すべく、令和2年度から規則の一部を改正し、交付要件の緩和や本社機能移転に対する補助の追加等を行った。	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>令和2年度は新たに1企業に対して補助金を交付し、成果は向上している。 新規交付決定内容は環境エネルギー関連施設の増設が1件であった。</p>
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>令和2年度は、工業用地や物流施設用地などに関する問い合わせが32件（うち食品関連産業は4件）あったことから、今後も成果の向上が見込まれる。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>立地補助金の交付は、近隣市町村も企業進出時や事業拡大時の支援のひとつとしており、江別市よりも交付額が多い市町村も少なくない。 交付額を削減すると、企業が進出候補先自治体の支援状況を比較した際に、江別市が候補から外れる可能性があるため、コスト削減余地はない。</p>

事業名：企業誘致推進事業

【事業番号 65】
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

企業・事業所

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	企業・事業所数	社	357,754	348,322	338,238	348,322
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集
- ・企業、産業支援機関等へのPR活動
- ・立地を検討している企業への情報提供、立地支援等

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	企業との接触数(訪問、来訪、イベント等)	社	190	197	163	100
活動指標 2	誘致関係機関との接触数(官公庁、団体)	社	30	27	29	10

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

道内外企業・事業所を江別市へ誘致する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	立地企業・事業所数(土地・建物の賃借による操業を含む)	社	5	1	5	3
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	1,794	567	690	1,775
正職員人件費(B)		千円	11,441	11,531	11,444	7,602
総事業費(A+B)		千円	13,235	12,098	12,134	9,377

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問 ・パンフレット等による情報発信 ・企業誘致に係る情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致パンフレット製作費 ・企業信用調査費 	418千円 272千円

事業開始背景
新たな企業が市内に進出することで、雇用及び税収の増加や市内経済の活性化につながることから、企業に対し江別市が魅力ある場所であることを積極的にPRすることでその実現につなげるため、本事業を開始した。
事業を取り巻く環境変化
人口減少に悩む自治体間で誘致競争は厳しさを増しているが、当市の分譲地は残り1区画となっている。RTNパーク第1期計画の未造成地は約6.2haあり、今後の用地の確保が検討課題である。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由根拠
	企業誘致活動は、実施から成果を生むまで長時間を要することから単年度の数値にとられる必要はないものと考えますが、一方で、新規立地等に適した準工業用地、工業地域、工業専用地域に市有地（分譲地）や譲渡可能な民有地が少ない中で、年間数社の新規立地企業があることから、少なからず成果は出ている。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由根拠
	職員の誘致対応能力や情報収集能力の向上により、小さいながら成果向上の余地がある。 抜本的には、企業が立地できる用地を確保しなければ成果の向上は難しいが、RTNパーク内の未造成地を工業用地として企業に紹介できるよう継続して地権者と協議することで成果の向上が見込まれる。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある なし	理由根拠
	過去にスクラップアンドビルドにより費用対効果が少ないと判断した事業を廃止しており、現在大きなコスト削減の余地はない。	

事業名：商工業活性化事業

【事業番号 74】

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ①中小企業団体
- ②中小企業者
- ③商店街団体
- ④個人

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	中小企業所数	所	3,351	3,351	3,351	3,351
対象指標 2	商店街組合数	件	7	7	5	5

手段(事務事業の内容、手法)

- ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。
- ・共同施設等の整備、商店街の景観向上整備(ハード事業)や、イベント、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等(ソフト事業)に対する補助メニューがある。
- ・事業開始前に申請書を受受理し補助金の交付決定を行い、事業終了後は報告書の提出を受ける。
- ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10~7/10の範囲内(限度額400~8,000千円)で補助する。
- ・補助金の活用により商工業の活性化につながるよう、周知や個別支援のサポートを行う。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	558	1,421	174	2,330
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

商店街の景観整備やイベント、新商品開発、人材育成等により事業者の活力向上並びに商店街の魅力向上を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	補助金の活用件数(ハード事業)	件	0	0	1	2
成果指標 2	補助金の活用件数(ソフト事業)	件	4	10	5	10

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	558	1,421	423	2,572
正職員人件費(B)		千円	3,051	5,381	3,052	5,702
総事業費(A+B)		千円	3,609	6,802	3,475	8,274

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う人材育成やイベント事業に対して補助する。 ・新たな市場の開拓や販路拡大のため、道外物産展への参加旅費に対して補助する。 ・商店街を訪れる住民の利便向上を目的とした施設の整備に対して補助する。 ・制度の周知や個別支援のサポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業活性化事業補助金 174千円 ・制度の周知や個別支援に係る委託経費 248千円

事業開始背景	
大型店の出店、価格破壊等に伴う商業環境の変化により、商店街を中心とする中心市街地が空洞化するなど地域の核である商店街にとっては厳しい経済状況が続いており、活性化するためのハード、ソフトの事業が必要なため。	
事業を取り巻く環境変化	
大型複合商業施設の相次ぐ開業により、商店街を取り巻く環境は危機的な状況が続いていることから、産業構造の変化や消費者ニーズの多様化等に対応しうる地場産業を育成し、地域経済の活性化を促すため、その力となる人材育成、製品・技術開発等を支援しなければならない。	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、例年、市の補助金を活用していたイベント等が中止になったため。</p>
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルスの感染が収束し、市の補助金を活用したイベントが開催可能となれば、成果は上がると考えられる。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>ソフト系事業については、毎年一定の予算額で設定し、申請に対して支援するため、コスト削減余地はない。</p>

事業名：江別商工会議所補助金

【事業番号 76】
 商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

商工会議所(中小企業相談所)

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	商工会議所	所	1	1	1	1
対象指標 2	商工会議所会員数	所	846	850	854	850

手段(事務事業の内容、手法)

- ・江別商工会議所が実施する経営指導、各種相談業務等に対して補助する。
- ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別商工会議所補助金交付要領」に基づき、江別商工会議所に対し、中小企業相談所運営費の1/2、関係団体運営費の1/2を補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	8,575	8,575	8,482	8,575
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

公平な機関として、中小企業者の成長発展を促進するための経営相談等のサービスを提供する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	経営指導件数	件	765	606	336	606
成果指標 2	相談件数	件	2,237	2,176	1,845	2,176

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	8,575	8,575	8,481	8,575
正職員人件費(B)		千円	2,288	1,537	1,526	1,520
総事業費(A+B)		千円	10,863	10,112	10,007	10,095

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	江別商工会議所が実施する経営指導、各種相談業務等に対して補助する。	江別商工会議所補助金	8,481千円

事業開始背景
地域経済の発展、商工業者の経営安定を図るべく商工会議所の果たす役割は重要であり、経済状況の変化に的確に対処すべく経済状況分析等中小企業者全般に関わる事業に対して補助する。
事業を取り巻く環境変化
長引く景気の低迷により経営環境、金融環境の悪化が続いている上、現在、新型コロナウイルス感染症が爆発的感染拡大しその収束の見通しがたたない状況であり、特に信用力の乏しい中小企業においては厳しい様相を呈している。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由根拠 → 会員数は増加しているが、コロナ禍の影響と考えられるが、経営指導件数は昨年実績の55.4%、相談件数も前年の84.8%と、いずれも減少している。 しかし、現状の厳しい経済環境の中では、指導、相談の重要性は依然として高いと考える。
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由根拠 → 中小企業を取り巻く環境の変化に応じたセミナーの開催など、事業の見直しが行われており、これ以上の成果向上の余地は少ない。
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある なし	理由根拠 → 道からの補助金もあるが、十分な運営を行えるものではなく、これ以上の補助金の削減は業務の停滞に繋がり中小企業者へ直接影響を与えることになる。新たな事業の実施等により会員の増加が図られるよう平成28年度に補助率を見直し（中小企業相談所運営費1/3から1/2へ）、会員数は26増加したが、脱退数が上回った。

事業名：江別市商店街振興組合連合会補助金

【事業番号 77】

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市商店街振興組合連合会

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	連合会加入組合等の数	組合	7	5	5	5
対象指標 2	連合会加入組合傘下の商店等の数	所	77	68	68	68

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」に基づき、江別市商店街振興組合連合会の指導事業費の1/2を補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	800	800	651	800
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

商店街の組織化、近代化を推進するとともに、商店街の振興発展と連合会の運営の円滑化を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	会員への事務処理等指導件数	件	7	7	3	5
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	800	800	651	800
正職員人件費(B)		千円	763	769	763	760
総事業費(A+B)		千円	1,563	1,569	1,414	1,560

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	江別市商店街振興組合連合会指導事業に対し補助金を支出	江別市商店街振興組合連合会指導事業への補助金	651千円

事業開始背景
商業振興、商店街の活性化、街づくりのための各種事業を行う江別市商店街振興組合連合会を積極的に支援する。
事業を取り巻く環境変化
長引く不況や集客力の格差、大型店の影響などにより、連合会加入参加の商店数が減少している。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>厳しい経済状況や大型店進出に加え、新型コロナウイルス感染症の爆発的感染拡大により、商店街を取り巻く状況は一層厳しさを増しているため、江別市商店街振興組合連合会にかかる期待は高まるものと思われる。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>本事業のみでは成果向上の余地は大きくはないが、他の事業との連動により向上の余地はある。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>北海道商店街振興組合連合会と江別市からの補助金が収入の3割を占めている経営基盤の弱い団体であり、市の補助金削減は連合会の運営に大きな影響を及ぼすものである。</p>

事業名：シルバー人材センター事業補助金

【事業番号 88】

商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

高齢者の就業を支援する団体

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	高齢者の就業を支援する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「公益社団法人江別市シルバー人材センター補助金交付要領」に基づきシルバー人材センターに対し、同センターの管理運営費(人件費・事務運営費等)を補助する。補助額は国の補助基準に基づき決定する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	23,739	23,339	23,339	23,339
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

高齢者の経験と技術を生かした就業の場を提供する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	(社)江別市シルバー人材センター受注事業費	千円	220,600	207,012	238,270	207,012
成果指標 2	(社)江別市シルバー人材センター延就業者人数	人日	46,271	43,308	50,975	43,308

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	23,739	23,339	23,339	23,339
正職員人件費(B)		千円	763	769	763	760
総事業費(A+B)		千円	24,502	24,108	24,102	24,099

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	シルバー人材センターへの補助	補助金	23,339千円

事業開始背景
高齢社会における高齢者への就業機会の提供と社会活動の創造の重要性
事業を取り巻く環境変化
国の補助基準に基づき市の補助額を決定している。平成27年度より派遣実績に対する補助項目が追加されたが、江別市シルバー人材センターはそれ以前より派遣事業に力を入れており、補助額が増額した。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）						
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">受注事業費、延就業人数ともに増加しており、今後も請負可能な契約数を維持することが見込まれる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	受注事業費、延就業人数ともに増加しており、今後も請負可能な契約数を維持することが見込まれる。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由 根拠			受注事業費、延就業人数ともに増加しており、今後も請負可能な契約数を維持することが見込まれる。	
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">生産年齢人口の減少により、市内企業における労働力不足も生じており、新規開拓の強化等により就業機会の拡大を実現する余地がある。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	生産年齢人口の減少により、市内企業における労働力不足も生じており、新規開拓の強化等により就業機会の拡大を実現する余地がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由 根拠			生産年齢人口の減少により、市内企業における労働力不足も生じており、新規開拓の強化等により就業機会の拡大を実現する余地がある。	
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？						
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">国のセンターへの補助は市の補助額が上限となっており、市が補助額を削減すると国の補助も減少することから、経営に対する悪影響が大きい。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	国のセンターへの補助は市の補助額が上限となっており、市が補助額を削減すると国の補助も減少することから、経営に対する悪影響が大きい。	なし	なし
	ある	理由 根拠			国のセンターへの補助は市の補助額が上限となっており、市が補助額を削減すると国の補助も減少することから、経営に対する悪影響が大きい。	
なし						
なし						
なし						

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

勤労者研修センター

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	9,132	9,194	9,290	9,273
活動指標 2	開館日数	日	296	288	262	293

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

勤労者の研修等を実施するため、施設の維持管理・運営を適切に行う。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	利用者数	人	12,910	13,488	6,831	13,488
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	9,132	9,194	9,290	9,273
正職員人件費(B)		千円	1,144	1,153	763	1,140
総事業費(A+B)		千円	10,276	10,347	10,053	10,413

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	江別市勤労者研修センター管理運営費として、指定管理者へ管理代行させる	・指定管理料	9,290千円

事業開始背景
市内中小事業所への研修施設提供による人材育成支援
事業を取り巻く環境変化
産業構造の高度化 昭和58年のセンター設立時より産業構造は大きく変化を遂げた。産業構造の高度化によるサービス産業の伸張に伴い、従業員の商品知識・接客技術の習得の必要性が高まっている。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>緊急事態宣言の発令に伴う施設休館や、新型コロナウイルスの影響を受けて、利用者数は減少している。今後、感染対策を徹底したうえで、利用促進の働きかけを行っていく必要がある。</p>
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>商工業団体等勤労者研修のみを目的としたものだけではなく、教育団体や福祉団体等を広く受け入れている。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>指定管理者に委託することで、経費を抑えて運営している。</p>

事業名：勤労者生活資金貸付事業

【事業番号 93】
商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標						
対象(誰、何に対して事業を行うのか)						
市内在住及び市内事業所に勤務する従業員						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内事業所従業者数	人	33,426	33,426	33,426	33,426
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)						
市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	勤労者生活資金貸付制度預託額	千円	3,500	3,500	3,500	3,500
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)						
低利子の融資により、市内勤労者の生活安定に寄与する。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	新規生活資金利用者数	件	2	3	2	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	3,500	3,500	3,500	3,500
正職員人件費(B)		千円	381	384	381	380
総事業費(A+B)		千円	3,881	3,884	3,881	3,880

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。	・貸付金	3,500千円

事業開始背景
勤労者に対するセーフティネット構築の必要性
事業を取り巻く環境変化
景気低迷の長期化により勤労者の給与が低下傾向で推移する中、勤労者の生活安定を図るための貸付制度の必要性。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>昨年より貸付が1件減少しているが、一定水準を維持しており、今後も貸付実績を維持していくことが見込まれる。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>昨年より貸付が1件減少しているが、一定水準を維持しており、今後も貸付実績を維持していくことが見込まれる。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>昨年より貸付が1件減少しているが、一定水準を維持しており、今後も貸付実績を維持していくことが見込まれる。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>制度の周知方法の改善により、成果が向上する余地はある。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>制度の周知方法の改善により、成果が向上する余地はある。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>制度の周知方法の改善により、成果が向上する余地はある。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> <p>預託額は必要最小限に抑えている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>預託額は必要最小限に抑えている。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>預託額は必要最小限に抑えている。</p>				
なし						

事業名：勤労者福祉共済制度助成事業

【事業番号 94】
商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標						
対象(誰、何に対して事業を行うのか)						
江別市勤労者共済会						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	勤労者共済会加入者数	人	910	909	909	909
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)						
江別市勤労者共済会の管理運営費の一部として、江別市勤労者福祉共済制度助成事業補助金交付要領に基づき、補助金を交付する。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,124	2,125	2,336	2,393
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)						
市内の中小企業等の従事者の福祉向上に寄与する。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	各種共済給付金給付額	千円	2,671	3,624	4,085	2,917
成果指標 2	各種福利厚生事業費	千円	2,023	2,085	1,681	1,939

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	2,124	2,125	2,336	2,393
正職員人件費(B)		千円	381	384	381	380
総事業費(A+B)		千円	2,505	2,509	2,717	2,773

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	江別市勤労者共済会に対し、運営費の一部を補助する。	・補助金	2,336千円

事業開始背景
市内中小企業への福利厚生事業支援による生活基盤の改善
事業を取り巻く環境変化
景気低迷の長期化による企業業績の悪化などから退会する事業所もあり、加入事業所数が伸び悩んでいる。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>業績の悪化や廃業により退会する事業所もあるが、新規加入の事業所もあり、一定の成果を得ている。</p>
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>他団体が運営する共済制度との統合により、市内事業所の共済制度の一元化の可能性はある。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>平成17年度に補助の見直しを行い、役員報酬等の補助を廃止している。</p>

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成11年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

野幌駅周辺地域
「野幌駅周辺地区活性化計画における対象区域」

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	野幌駅周辺の面積	h a	8	8	8	8
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・市民交流や市民活動の拠点づくりと、活性化活動団体や商店街等の行う地域の活性化に向けた取り組みを支援する。
- ・「江別の顔づくり支援促進事業補助金交付要綱」に基づき、江別の顔づくり事業を推進し、野幌駅周辺で活動する団体等に対し、事業費の7/10(事業費30万円以上のもの)を補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	350	356	0	700
活動指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの数	回	7	9	2	9

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

街なかに賑わいを醸し、商業等の活性化を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	活性化活動拠点の利用者数	人	3,628	3,297	1,119	3,297
成果指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの参加者数	人	50,800	61,600	0	61,600

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	350	356	0	700
正職員人件費(B)		千円	1,907	1,922	381	3,801
総事業費(A+B)		千円	2,257	2,278	381	4,501

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	江別の顔づくり事業の推進に寄与する地域活性化事業に対する補助	江別の顔づくり支援促進事業補助金 0円	

事業開始背景	
江別の顔づくり事業は、野幌駅を中心とした南北市街地を一体化し、「コンパクトな市街地の形成」や商業・業務、交通、文化・交流、居住などの「都市機能の充実による中心市街地活性化」を目的として、平成7年度の江別市新総合計画への位置付け以来、事業を推進している。	
事業を取り巻く環境変化	
H18. 6. 20都市計画決定（鉄道高架事業、土地区画整理事業、街路事業） H18. 11. 9事業認可告示（鉄道高架事業） H18. 11. 24事業計画決定（土地区画整理事業） H23. 6. 14事業認可告示（街路事業） R2. 3野幌駅南通開通 市の全ての基盤整備完了	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、野幌駅周辺のイベント等が中止になったため。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルスが収束し、野幌駅周辺のイベントが開催可能となれば、成果が向上する可能性がある。 また、令和元年度の野幌駅南通の開通や宿泊施設、市民交流施設のオープンにより、南北市街地が一体化した活性化の取組が期待される。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>江別の顔づくり事業完了に伴う記念行事を想定した予算額を設定し、補助金の申請に対して支援するため、コスト削減余地は少ない。なお、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で記念行事が中止となったため、翌年度以降に延期となった。</p>

事業名：旧岡田倉庫活用事業

【事業番号 743】

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

旧岡田倉庫活用民間運営協議会

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	旧岡田倉庫活用民間運営協議会会員数	人	24	23	23	23
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

アトスペース外輪船を芸術文化活動等の拠点として運営する協議会に対して「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付し、芸術文化事業の推進を支援する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市民が芸術文化活動等の発表の場や自由に交流する空間としてアトスペース外輪船を活用することにより、江別の歴史や文化的な価値の高さを啓発するとともに、周辺地域の活性化に寄与する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	事業等開催数	回	118	89	46	89
成果指標 2	利用者数	人	3,800	2,176	381	2,100

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	14,421	11,743	11,915	118,251
正職員人件費(B)		千円	3,814	10,762	10,681	10,643
総事業費(A+B)		千円	18,235	22,505	22,596	128,894

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付 平成12年に取得した旧岡田倉庫用地購入費に係る土地開発基金買戻し分(平成30年度から令和5年度までの6年間で償還) かわまちづくり協議会やワーキンググループの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金 1,000千円 投資関係公有財産購入費 10,732千円 かわまちづくり協議会等開催経費 172千円 	

事業開始背景

平成16年度に江別市街地区の活性化を図る一環で、地域の歴史的価値の高い「旧岡田倉庫」を後世に残すとともに、新たな地域文化の発信拠点として、北海道の「地域文化ネットワーク形成促進事業」を活用し、「アートスペース外輪船」として再生した。

事業を取り巻く環境変化

小規模ながら、趣のあるアートスペース外輪船の魅力が内外に定着してきている。演劇を主体とする団体が隣接地に移転してくるなど相乗効果が生まれ始めている。芸術文化事業のほか、幅広い活用がなされてきている中、平成28年度には、江別市指定文化財として登録を受けている。また、開発局札幌開発建設部において石狩川・千歳川の堤防整備計画が進められており、旧岡田倉庫の土地が用地買収の対象となっているため、旧岡田倉庫移転等に係る協議が必要である。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、前年度と比較してアートスペース外輪船の利用が大きく減少したため。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>新型コロナウイルスが収束すれば、成果の向上はあり得る。また、協議会にて、今後の活用方法を再検討・協議することで、成果が向上する可能性がある。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>老朽化した当該建物を必要最低限の費用で管理運営しており、コストの削減は難しい。</p>

事業名：江別駅前再開発事業

【事業番号 806】
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標						
対象(誰、何に対して事業を行うのか)						
えべつみらいビルを中心とした江別駅周辺地区						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標1	えべつみらいビルテナント部分床面積	坪	1,296.72	1,296.72	1,296.72	1,296.72
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)						
江別駅前活性化の拠点施設である㈱SPCみらいの業務棟(えべつみらいビル)、福祉棟の健全な事業遂行・経営安定を図るため、えべつみらいビルの3、4階フロアを20年間借上げ						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標1	えべつみらいビル3、4階賃借料	千円	118,843	118,843	118,843	118,843
活動指標2	入居率(ビル全体)	%	60.4	46	55.9	100

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)						
コールセンター等をえべつみらいビルに誘致することで地区の昼間人口を増加し、地区の経済・社会を活性化する。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標1	江別駅周辺地区の新規開業数	件	19	19	13	16
成果指標2	江別駅乗降客数	人/日	7,403	7,315	7,260	7,315

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	118,889	118,889	118,889	118,889
正職員人件費(B)		千円	3,814	3,844	3,815	3,801
総事業費(A+B)		千円	122,703	122,733	122,704	122,690

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	・えべつみらいビル3、4階の賃借	・えべつみらいビル3、4階賃借料	118,843千円

事業開始背景

江別地区市街地の活性化はまちづくり市民会議等地元が長年にわたって取り組んできた課題であった。これらから発展した(有)みらいの設立等地域の活性化への取り組みと連動して本事業を開始した。

事業を取り巻く環境変化

えべつみらいビル完成当初の入居率は6割程度であったが、平成21年度に3、4階フロアが満床となり、平成24年度には全フロアが満床となった。平成27年10月に入居企業が業務拡張により転居したことで、2、3階フロアが空室となった。平成28年度は2階に2社が入居、平成29年度には2階に1社、3階に1社が入居（増床）したが、令和元年度には1階の入居企業が退居した。令和2年度では2階空室部分への短期間の入居があったほか、3階に1社が入居（増床）した。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中小企業者

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	中小企業所数	所	3,351	3,351	3,351	3,351
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

北海道や物産流通関係団体等が実施する物産展、商談会等のマーケティング支援を最大限活用するなど、関係機関、団体等と連携しながら、地域内外での地場産品の販路拡大を推進する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	6	10	4	8
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

販路拡大や商品開発・ブランド化に向けて、商談会や催事への企業出展が促進される。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	35	64	29	60
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	436	382	248	528
正職員人件費 (B)		千円	6,102	6,918	6,103	6,842
総事業費 (A+B)		千円	6,538	7,300	6,351	7,370

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別産品試食評価相談会開催 商談会、物産展（明治屋ストアー「美味しい江別フェア」ほか）への参加支援 江別産品リスト作成 	<ul style="list-style-type: none"> 江別産品試食評価相談会開催経費 商談会、物産展（明治屋ストアー「美味しい江別フェア」ほか）への参加支援 江別産品リスト印刷費 	<ul style="list-style-type: none"> 25千円 120千円 72千円

事業開始背景	
安心安全な道産食品への需要の高まりが見られることから、機を逸することなく、江別産品を道内外、特にマーケットの大きい首都圏へ発信する機会が求められているため、食を軸とした地場産品の販路拡大を図る。併せて観光プロモーションを実施することにより観光客の誘客を図る。	
事業を取り巻く環境変化	
食の安心安全に対する消費者の意識が高まる中、道産品の需要は道内外から高まっているところであり、市内事業者のニーズと展開規模に合った江別産品の発信を行う必要がある。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響から、試食を伴わない物産展やオンラインでの商談会など、新しい生活様式に対応した取組が求められる。	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>地場産品の販路拡大に向け、商談会や物産展等への参加案内を市内事業者へ積極的に行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響から、予定していた商談会・催事の開催自体が相次いで中止となったため、出展企業数が伸びなかった。</p>
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>商談会・催事が新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに開催出来る状況になれば、出展機会も増えることから出展企業数も向上する余地がある。また、新規事業者の中でも特に小規模事業者については、人手や供給数、商品の日持ち等の制限があることから道内外への販路拡大を積極的に行いづらい状況がある。従って、市内事業者の状況やニーズを把握し、支援(商品開発や既存商品のブラッシュアップ、販路拡大に向けた商談会開催等)を行っていくことで、商談会・催事への出展企業数が向上する余地がある。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>市内の多くの小規模事業者が道内外への販路拡大を目指し、商品開発やブラッシュアップ、販路拡大のノウハウ取得を必要としている。また、出展料等のコスト支援を求める声も多い。これまで事業費削減を進めてきたが、今後道内外への販路拡大による事業効果を上げるためには、行政と事業者が一体となって取り組んでいく必要があり、そのためには一定のコストを要する。</p>

事業名：総合特区推進事業

参事(総合特区推進)

政策	02 産業			戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策	(1) 健康増進活動の推進				
開始年度	平成24年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区(フード特区)計画に取り組む組織・機関・団体等

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	特区協議会構成員数	団体	86	86	86	85
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・食の高付加価値化
食品の評価試験システム「江別モデル」を推進するための補助金交付等
- ・海外市場の開拓
海外市場開拓・販路拡大を支援するための補助金交付及び海外催事出展等の海外市場開拓支援事業の実施
- ・食のまちPR
首都圏企業等へのフード特区事業PR

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	9,735	11,288	12,027	13,000
活動指標 2	補助金額	千円	6,825	6,919	6,890	7,000

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

食関連産業の立地環境整備を側面的に支援することで、食関連企業・研究施設等の新規立地や、既存企業の事業拡大による増設を促進し、食関連企業の集積を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	食関連企業の新増設数	社	2	0	1	2
成果指標 2	健康企業・健康事業所宣言等認定数(平成31年度から)	社	0	28	33	34

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	13,493	13,412	10,523	14,667
正職員人件費(B)		千円	7,627	7,687	7,629	7,602
総事業費(A+B)		千円	21,120	21,099	18,152	22,269

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出 ・食品の評価試験システム「江別モデル」の体制構築を支援する補助金を交付 ・海外市場開拓・販路拡大を支援する補助金を交付 ・海外催事出展、海外バイヤーとの商談会開催のほか、外国語PR冊子の制作による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・フード特区機構負担金 ・機能性食品開発支援補助金 ・海外市場開拓等促進補助金 ・海外市場開拓支援事業 	<p>2,467千円 6,500千円 390千円 1,155千円</p>

事業開始背景	
<p>平成23年12月、内閣総理大臣より札幌市・江別市・帯広市・十勝管内18町村・函館市が総合特別区域法に基づく国際戦略総合特別区域に指定された。指定を受けた「札幌・江別エリア」は、「食品の安全性・有用性の分析評価と研究開発の拠点」の位置付けであることから、企業誘致推進事業の一環として立地環境整備支援を行い、食関連企業の集積を図る。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度：フード特区が平成28年度までの5年計画としてスタート。 平成28年度：関係自治体等と協議のうえ、平成29年度以降5年間の延長申請を国へ行い、平成29年3月27日付にて認定された。 令和2年度：新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、海外、道外をターゲットとする総合特区推進事業の実施に大きな制約を受けた。（事業の中止、変更） 	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>「食関連企業の新増設数」について、これまで累計7件の実績があることから、成果はどちらかといえば上がっている。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>食と健康のまちづくりを視野に入れた食関連産業の進出については、これまでも江別市における立地優位性の評価を高めるため、北海道情報大学が実施している食の臨床試験「江別モデル」をPRしているほか、江別の食材を使った実食イベントを開催してきた。健康経営については、市が率先的に進めるとともに、江別モデルを中心としたPR活動を継続することで、今後、企業の健康経営に対する意識向上が期待される。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>事業費の大半が補助金・負担金であり、補助率及び補助要件は定まっているため、コスト削減余地は無い。</p>

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

野幌商店街

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	野幌商店街	商店街	1	1	1	1
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。
- ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助金交付要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2(上限:300万円)や家賃の1/2(1年間、月額上限5万円)を補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	コーディネーター数	人	1	1	1	1
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	0	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。
2. 野幌商店街の集客力向上のため店舗を誘致する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	相談件数	件	131	99	110	70
成果指標 2	誘致件数	件	0	0	0	0

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	2,454	2,451	2,450	2,452
正職員人件費(B)		千円	3,814	3,844	3,815	2,281
総事業費(A+B)		千円	6,268	6,295	6,265	4,733

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設	・コーディネーター委託費	2,450千円

事業開始背景
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急雇用創出事業（野幌駅周辺地区活性化事業）の終了後、引き続きコーディネーターを常設し、街路事業による商店街再編等の課題の解決が必要なことから当該事業を開始することとなった。 ・平成26年度相談件数は、緊急雇用創出事業（4月～9月）で150件、本事業（10月～3月）で112件であり、合計262件となっている。
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化が進展する中、大型店の寡占化や消費活動の多様化などにより、市内の商店街の衰退が顕著である。 ・令和2年3月に野幌駅南通が開通し、江別の顔づくり事業における市の全ての基盤整備が完了した。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由 根拠
	野幌駅周辺地区に係る新規誘致・出店に関する相談案件が多数あり、地域活性化を促すための効果があると考えられる。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由 根拠
	野幌商店街による国の補助制度の活用など、コーディネーターの支援が必要となる事業もあり、成果向上の余地があると考えられる。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある なし	理由 根拠
	コーディネーター人件費以外の事務所経費等は商店街が負担しており、これ以上の削減は困難である。	

事業名：工業団地環境整備事業

【事業番号 6194】
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

工業団地

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	工業団地(第一、第二工業団地、RTNパーク)の面積	ha	387.9	387.9	387.9	387.9
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・団地内の劣化している道路を改修する。
- ・不必要な給水管を撤去する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	工事費	千円	14,980	9,878	0	44,778
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

団地内の環境を整備することで、企業活動が円滑に進められる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	工事延長	m	102	54.3	0	297.74
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	14,980	9,878	0	44,778
正職員人件費(B)		千円	3,432	2,306	763	760
総事業費(A+B)		千円	18,412	12,184	763	45,538

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改修工事(令和2年度未実施) ・分譲地の給水管撤去工事(令和2年度未実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改修工事：令和3年度から社会資本整備総合交付金を活用することを見込み、令和2年度は未実施 ・給水管撤去工事：市の分譲地に企業が立地しなかったため未実施

事業開始背景
工業団地の特性として、一般の道路と比べて大型車両の交通量が多く、舗装の老朽化が進み車両の走行性が著しく低下する状態となる。団地内企業の操業に支障が出ないよう環境を整備する必要があり、本事業を開始した。
事業を取り巻く環境変化
第1・第2工業団地は国道275号に隣接しており交通アクセスが良いため、近年物流関連企業が立地先として注目している。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">令和2年度は道路改修工事を見合わせたが、令和3年度は社会資本整備総合交付金の活用による整備を行い、長期的な計画に基づいて改修が進められている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由根拠	令和2年度は道路改修工事を見合わせたが、令和3年度は社会資本整備総合交付金の活用による整備を行い、長期的な計画に基づいて改修が進められている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由根拠	令和2年度は道路改修工事を見合わせたが、令和3年度は社会資本整備総合交付金の活用による整備を行い、長期的な計画に基づいて改修が進められている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">投下予算が成果に直結する事業であり、令和3年度以降に社会資本整備総合交付金を活用することによって、これまでと比べて施工範囲の拡大が期待でき、成果の向上が見込まれる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由根拠	投下予算が成果に直結する事業であり、令和3年度以降に社会資本整備総合交付金を活用することによって、これまでと比べて施工範囲の拡大が期待でき、成果の向上が見込まれる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由根拠	投下予算が成果に直結する事業であり、令和3年度以降に社会資本整備総合交付金を活用することによって、これまでと比べて施工範囲の拡大が期待でき、成果の向上が見込まれる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">既に令和3年度から社会資本整備総合交付金の活用によるコスト削減を実施しており、投下予算が成果に直結する事業のため、今後大きなコスト削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由根拠	既に令和3年度から社会資本整備総合交付金の活用によるコスト削減を実施しており、投下予算が成果に直結する事業のため、今後大きなコスト削減の余地はない。	なし	
ある	理由根拠	既に令和3年度から社会資本整備総合交付金の活用によるコスト削減を実施しており、投下予算が成果に直結する事業のため、今後大きなコスト削減の余地はない。				
なし						

事業名：中小企業資金融資事業

【事業番号 6222】
商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略			
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策			
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市内の中小企業者

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内の事業所数(非農林漁業)	所	3,311	3,311	3,311	3,311
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

市が市内金融機関へ必要な資金を預託し、中小企業者に対する低利の融資制度を運用する。また、企業が金融機関から貸付を受ける際、その債務を保証する信用保証協会へ支払う保証料について、全部又は一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	新規融資額	千円	326,598	227,805	96,000	478,068
活動指標 2	信用保証料補給金額	千円	9,247	8,588	3,456	8,300

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

中小企業者の経営の安定、経営基盤の強化を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	新規融資件数	件	94	77	35	146
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	1,146,452	1,137,259	1,008,018	1,240,217
正職員人件費(B)		千円	7,627	6,150	3,815	6,082
総事業費(A+B)		千円	1,154,079	1,143,409	1,011,833	1,246,299

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業振興資金融資 ・小規模企業安定資金融資 ・商工業近代化資金融資 ・中小企業信用保証料補給 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸付金 1,004,166千円 ・斡旋・診断手数料 396千円 ・信用保証料補給金 3,456千円 	

事業開始背景	
景気等の低迷により資金繰りが短期的に悪化した市内中小企業者等に対し資金を低利で融資するための「中小企業振興資金融資事業」、「小規模企業安定資金融資事業・中小企業振興融資診断事業（斡旋）」、経営基盤の強化と活性化を目指す市内中小企業者等に対し必要な資金を低利で融資するための「商工業近代化資金融資事業」、貸付を受ける際の保証料を補助する「中小企業信用保証料補給事業」の4事業を平成29年に統合した。	
事業を取り巻く環境変化	
中小企業庁の調査によると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中小企業、小規模事業者を取り巻く環境は大きく変化し、企業経営にも甚大な影響が生じた。業況や業績、設備投資の状況は悪化した一方で、感染症流行を契機としてソフトウェア投資の重要性が高まりつつある状況が見られた。市内でも同様の傾向と考えられるので、運転資金、設備投資等につき、制度融資の運用を通じた推進が必要である。	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
令和2年度は本格的に新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し始め、人々の消費活動が抑制されたことにより、中小企業も煽りを受け、市内でも業績悪化、廃業、休業する企業が相次いでいる。経営体力が落ちている中、融資を受けたとしても返済の目途が立たないために利用に至らない事業者があるのでないかと考えられる。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
令和3年度は令和2年度よりさらに新型コロナウイルス感染症が爆発的に拡大し、収束の目途が立たなくなっている。令和3年度は、不動産事業者による土地・家屋購入資金の融資なども散見され、苦しい経営状況が垣間見える。なお、この状況では、融資額は増加する見込みである。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
利用実績に応じて融資枠を設定している。今後の需要拡大の可能性もあるため、削減は困難である。		

事業名：江別まちなか仕事プラザ事業

【事業番号 6404】
 商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内求職者及び市内事業所

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	ハローワーク江別有効求職登録者数	人	0	0	2,132	2,114
対象指標 2	市内事業所数	事業所	0	0	3,351	3,351

手段(事務事業の内容、手法)

- ①求職者に向けた就職支援セミナー等の実施
- ②市内事業所に向けた人材確保力を向上するセミナー等の実施
- ③企業説明会による人材のマッチング支援
- ④企業交流会等による市内企業の認知度向上に向けた支援

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	登録事業所数	事業所	0	0	54	57
活動指標 2	就職支援セミナーや企業説明会等の開催回数	回	0	0	130	97

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

働きたい人が就職もしくは再就職できるような課題を解決するほか、市内事業所の人材確保に向けた取組を促進し、市内の雇用循環を活性化させる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	就職者数	人	0	0	157	111
成果指標 2	就職支援セミナーや企業説明会等の参加者数	人	0	0	521	500

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	0	0	22,493	22,109
正職員人件費(B)		千円	0	0	6,866	6,082
総事業費(A+B)		千円	0	0	29,359	28,191

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設における求職者及び市内企業向けセミナー等の実施 ・拠点施設における市内事業所説明会等の人材確保の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般委託料(拠点施設運営費) 18,675千円 ・一般使用料賃借料(拠点テナント賃借料) 2,812千円 ・維持補修関係工事費(拠点整備費) 847千円 	

事業開始背景
新規就業を希望するシニア・女性・学生等の就労意欲の向上及び市内企業における人材確保
事業を取り巻く環境変化
市内では「シニアや主婦」など潜在的な労働力が増えているほか、4つの大学や3つの公立高校、2つの私立高校があり、年齢問わず、様々な労働力が潜在している。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）			
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>新型コロナウイルスによる外出自粛等の影響を受けながらも、登録事業者数、就職者数ともに当初の計画を上回っている。</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠
<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>新型コロナウイルスによる外出自粛等の影響を受けながらも、登録事業者数、就職者数ともに当初の計画を上回っている。</p>	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>施設を安定して運営していくことで、市民や事業者への認知度を上げ、利用者数の増加を図る。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠
<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>施設を安定して運営していくことで、市民や事業者への認知度を上げ、利用者数の増加を図る。</p>	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>施設運営にかかる費用は必要最小限に抑えている。</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠
<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠	<p>施設運営にかかる費用は必要最小限に抑えている。</p>	

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果及び指標						
対象(誰、何に対して事業を行うのか)						
外国人技能実習生等とその受入れ企業						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内外国人技能実習生等	人	0	225	219	208
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)						
<ul style="list-style-type: none"> 外国人技能実習生等や受入れ企業を対象とした研修会の実施 江別国際センターで実施する「にほんご教室」への開催補助 						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	研修会開催数	回	0	1	0	1
活動指標 2	にほんご教室開催補助金額	千円	0	175	200	200

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)						
<ul style="list-style-type: none"> 外国人技能実習生等が職場のほか、地域で快適に生活できるようにする。 受入れを希望する企業や、既に受入れている企業が制度等への理解を深めることができるようにする。 						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	にほんご教室参加延べ人数	人	0	87	283	397
成果指標 2	研修会参加人数	人	0	27	0	27

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	0	182	200	316
正職員人件費(B)		千円	0	3,844	3,052	3,041
総事業費(A+B)		千円	0	4,026	3,252	3,357

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 外国人技能実習生等や受入れ企業を対象とした研修会の実施(新型コロナウイルス感染症の影響により未実施) 日本語教室開催の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室開催への補助 	200千円

事業開始背景	
平成29年11月に施行された技能実習法や平成31年4月に改正された入管法などを背景に、地方においても外国人技能実習生等の支援が望まれている。 技能実習制度の活用によって企業活動が順調に進むよう、企業が制度等への理解を深めるための支援や実習生が地域の一員として快適に過ごすための支援を行うため、本事業を開始した。	
事業を取り巻く環境変化	
市内の外国人技能実習生は増加傾向にあり、実習生を受入れている市内企業からは、外国人受入れに伴う相談体制の確保や、実習生が日本語を学ぶことができる場所の確保を望む声が多くなっている。	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>令和元年度から開始したにほんご教室及び外国人技能実習生等を対象とした研修会だが、令和2年度では、にほんご教室に延べ283人が参加した。 研修会は新型コロナウイルス感染症による影響により開催が見送られたため、成果指標は上がっていないが、今後も市内に居住する外国人技能実習生等の増加が見込まれることから、成果の向上が見込まれる。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年5月以降は市内の外国人技能実習生等が微減しているが、今後感染が収束に向かえば増加が見込まれるため、成果向上の余地がある。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>今後、外国人技能実習生等の増加が見込まれることに伴い、にほんご教室の内容の充実化が求められる中で、運営を支援するためのコストを削減することは困難である。また、研修会の開催に関する経費は、通訳に対する謝礼という最低限の経費しか見込んでいないことから、コストの削減は難しい。</p>

事業名：創業スタートアップ支援事業

【事業番号 6406】
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・創業に関心がある人や、創業に関する知識の少ない人及び関心があっても行動に起こせていない人
- ・市内で事業を行おうとしている人又は既に行っている人

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市民	人	0	119,510	119,883	119,883
対象指標 2	市内事業所数	所	0	3,351	3,351	3,351

手段(事務事業の内容、手法)

- ・市の創業支援事業計画に位置付けられ、市と連携して取り組む創業機運醸成事業に対して補助
- ・中小企業診断士による事業計画等に対する助言
- ・創業に必要な知識を身に付けられるセミナー等の開催
- ・入居企業が応分で支払う共用部分賃料を市が負担することで入居企業の賃料を軽減

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	創業に関する相談件数	件	0	24	35	35
活動指標 2	元町アンビシャスプラザ新規入居件数	件	0	0	2	3

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・創業に関する知識の少ない人等の関心と理解が深まり、創業に関心を持つ人が増える。
- ・場所やノウハウの提供、相談業務によって創業や新たな事業展開が増える。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	新規創業数	社	0	4	10	4
成果指標 2	元町アンビシャスプラザ入居区画数	区画	0	5	7	9

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	0	1,600	4,937	5,051
正職員人件費(B)		千円	0	3,844	6,103	3,801
総事業費(A+B)		千円	0	5,444	11,040	8,852

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士(創業支援相談員)による事業計画作成等に対する助言 ・元町アンビシャスプラザ共用部分の賃借 ・創業支援セミナー、実践創業塾の開催 ・創業支援等事業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援相談員の報酬 ・元町アンビシャスプラザ共用部賃借料 ・実践創業塾等の開催経費 ・創業支援等事業者への補助 	<p>490千円</p> <p>1,898千円</p> <p>864千円</p> <p>1,600千円</p>

事業開始背景
地域経済活性化を図るため、起業家の発掘と育成を通して、江別らしい新たなブランドづくりのきっかけの場となるように事業を計画し、開始した。
事業を取り巻く環境変化
江別経済ネットワークや大学・研究機関等の連携体制を活用し、起業家を発掘・育成するための環境が整っており、各種講座やセミナー等を通じてPRできる状況にある。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<input checked="" type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている <input type="radio"/> 上がっていない	理由根拠
	市の広報誌やホームページでPRや勧誘に努めたことで、計画どおりに成果があがっている。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<input type="radio"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 中 <input type="radio"/> 成果向上余地 小	理由根拠
	相談者やセミナー参加者が創業するには一定の期間を要するため、無料相談やセミナーの開催といった創業支援を継続することで、今後の成果向上が期待できる。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> なし	理由根拠
	相談業務に係る報酬は、人材確保の観点からコストの削減を図ることは難しい。また、アンビシャスプラザの共用部の賃借料についても、貸主との協議により平成30年度から賃借料の削減を行っているため、これ以上のコスト削減は困難である。	

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 2年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

新型コロナウイルス感染症の影響による業況悪化が見込まれる中小企業者等

指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1 対象事業者数	社	0	0	1,905	0
対象指標 2					

手段(事務事業の内容、手法)

業況が悪化している中小企業者等に事業継続及び雇用継続に資する給付金を支給する。

- 飲食店等支援給付金 1事業者あたり300千円
- 卸・小売業者支援給付金 1事業者あたり100千円
- 大学生アルバイト新規雇用事業者給付金 1事業者あたり100~200千円
- 理美容業支援給付金 1事業者あたり100千円
- 宿泊事業者支援給付金 1事業者あたり100千円
- 公衆浴場支援給付金 1事業者あたり100千円
- 酒類提供飲食店支援給付金 1事業者あたり200千円
- 新型コロナウイルス対策支援補助金 1件あたり上限2,000千円

指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1 給付金額	千円	0	0	217,632	0
活動指標 2					

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

感染症の影響を受けて業況が悪化し、経営の維持向上に支障を来している中小企業者等に対する支援を行い、事業の継続、雇用の継続及び市内経済の活性化を促す。

指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1 給付金交付件数	件	0	0	1,190	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)	千円	0	0	220,206	0
正職員人件費(B)	千円	0	0	5,340	0
総事業費(A+B)	千円	0	0	225,546	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	給付金支給 ・飲食店等支援給付金 ・卸・小売業者支援給付金 ・大学生アルバイト新規雇用事業者給付金 ・理美容業支援給付金 ・宿泊事業者支援給付金 ・公衆浴場支援給付金 ・酒類提供飲食店支援給付金 ・新型コロナウイルス対策支援補助金	給付金及び補助金 217,632千円 決定通知等郵送料 687千円 会計年度任用職員報酬 961千円	

事業開始背景
国からの交付金を活用して、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、業況が悪化した中小企業者等を支援する。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業況が悪化し、事業者の経営に支障を来している。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> <p>市内事業者の事業継続及び雇用維持に重要な役割を果たしている。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <p>交付金を財源としており、事業期間が限定的であるため。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>ある</p> <p>なし</p> <p>必要最小限のコストで実施している。</p>

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 2年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内中小企業者等

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	商品券取扱店舗数	店	0	0	516	0
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・額面13,000円(市内の店舗等で使用可能)のプレミアム付商品券を発行し、1冊10,000円で販売する。
- ・江別市民を対象とし、1世帯あたり2冊(子育て世帯は3冊)までを限度として商品券を販売する。
- ・指定された市内宿泊施設で宿泊する市外住民に対しては、1人につき1冊まで販売する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	商品券発行金額	千円	0	0	1,242,488	0
活動指標 2	商品券販売冊数	冊	0	0	95,576	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

新型コロナウイルスの影響を受けて業況が悪化している中、プレミアム付商品券の発行により消費意欲を喚起し、市内事業者の売上増進を図ることで、地域経済の活性化を促す。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	商品券利用総額	千円	0	0	1,238,271	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	0	0	360,117	0
正職員人件費(B)		千円	0	0	4,577	0
総事業費(A+B)		千円	0	0	364,694	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・江別市民に対し、市内の店舗等で使用できるプレミアム付商品券を発行、販売する。 ・指定された市内宿泊施設で宿泊する市外住民に対し、商品券を販売する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品券プレミアム分 285,754千円 ・商品券印刷費 18,612千円 ・商品券販売経費 5,993千円 ・換金事務手数料 28,990千円 	

事業開始背景	
新型コロナウイルスの影響を受けて市内業況が著しく悪化している中、消費者の購買意欲を喚起することで、市内事業者の売上増加を図るとともに市内経済の活性化を促す必要があるため。	
事業を取り巻く環境変化	
新型コロナウイルスの影響を受けて、市内の業況が著しく悪化した。	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）									
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？									
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">▶</td> <td rowspan="3">商品券の利用率は約99.7%であり、市内経済の活性化につながっている。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>		理由 根拠		上がっている	▶	商品券の利用率は約99.7%であり、市内経済の活性化につながっている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	理由 根拠								
上がっている	▶	商品券の利用率は約99.7%であり、市内経済の活性化につながっている。							
どちらかといえば上がっている									
上がっていない									
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？									
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">▶</td> <td rowspan="3">商品券の販売率は75%であり、販売店舗数等を増やすことで、販売率向上の余地はある。</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>		理由 根拠		成果向上余地 大	▶	商品券の販売率は75%であり、販売店舗数等を増やすことで、販売率向上の余地はある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	理由 根拠								
成果向上余地 大	▶	商品券の販売率は75%であり、販売店舗数等を増やすことで、販売率向上の余地はある。							
成果向上余地 中									
成果向上余地 小									
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？									
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">▶</td> <td rowspan="2">主な費用は、商品券の印刷代金や換金事務手数料であり、コストの削減は困難である。</td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> </table>		理由 根拠		ある	▶	主な費用は、商品券の印刷代金や換金事務手数料であり、コストの削減は困難である。	なし	
	理由 根拠								
ある	▶	主な費用は、商品券の印刷代金や換金事務手数料であり、コストの削減は困難である。							
なし									

事業名：えべつやきもの市イベント振興事業

観光振興課 観光振興係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

やきもの市実行委員会

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	11	10	10	10
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市商工労働関係事業補助金交付規則等に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた実行委員会に対して、まつりの中止及び継続のために要する経費から、本補助金以外の収入及び前年からの繰越金を差し引いた額の全額（上限20万円）を補助金として交付。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,700	3,000	171	1,700
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市のPR、芸術文化の振興及び地域経済の活性化に寄与するとともに、イベントとしての楽しさを創造し一定の来場者数を確保する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	来場者数	人	29,500	35,500	0	35,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	2,700	3,000	171	1,700
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,537	763	3,041
総事業費 (A+B)		千円	4,607	4,537	934	4,741

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	えべつやきもの市実行委員会への補助金交付	えべつやきもの市イベント振興事業補助金	171千円

事業開始背景
えべつやきもの市は、やきもの文化の市民生活への広がりなどを目的とし、平成2年から開催され、以来市より補助をしている。
事業を取り巻く環境変化
会場である江別駅周辺の宅地化や江別小学校閉校等により、出展者駐車場や地域住民の代替え駐車場の確保が困難になってきたこと、あわせて旧江高跡地と会場を結ぶシャトルバスの確保が困難になったことから、令和2年度以降の会場は江別駅周辺から市役所周辺に移転する予定であった（令和2年度開催はコロナウイルスにより中止）。また実行委員会では、将来的に野幌駅及びEBRI周辺での開催可能性について検討を進めている。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>30年度から元年度にかけて来場者数は増加しており、やきものまち江別のPRや会場周辺の経済効果等に一定程度の成果は上がっているが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったため。</p>
上がっている	理由根拠	
どちらかといえば上がっている		
上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>市内最大のイベントとして、現時点で江別市のPR、文化振興ならびに地域経済活性化に寄与している。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度・3年度と2年連続で中止となったこと及び会場変更が、成果指標にどのような影響を及ぼすか予測が難しいため。</p>
成果向上余地 大	理由根拠	
成果向上余地 中		
成果向上余地 小		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	理由根拠	<p>令和2年度に市役所周辺を会場としてやきもの市を開催した場合の申請予定の補助金額は、シャトルバスの廃止、警備人件費等の減により、前年度から大幅に減少する見込みであった。</p>
ある	理由根拠	
なし		

事業名：北海鳴子まつり事業補助金

【事業番号 80】
観光振興課 観光振興係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

えべつ北海鳴子まつり実行委員会

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	14	14	14	14
対象指標 2	出場チーム数	団体	52	49	0	49

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「北海鳴子まつり事業補助金交付要領」に基づき、北海鳴子まつり実行委員会へ、イベント開催に直接関係のある事業の経費に対し3分の2（上限170万円）の額の補助金を交付

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,700	1,700	0	1,700
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民相互の交流、観光誘客による市内経済の活性化を図る

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	来場者数	人	23,000	33,000	0	33,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	1,700	1,700	0	1,700
正職員人件費 (B)		千円	763	769	0	760
総事業費 (A+B)		千円	2,463	2,469	0	2,460

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	えべつ北海鳴子まつり実行委員会への補助金交付	北海鳴子まつり補助金	0円

事業開始背景

躍動感あふれる新しい踊りの文化を創造するとともに、市民相互の交流拡大、地域コミュニティの振興を図るまつりとするため、補助を開始した。

事業を取り巻く環境変化

札幌で開催されるYOSAKOIソーランまつりが大規模化する中、いわゆる「YOSAKOIブーム」の流れの中で、各地で類似のイベントが多く開催されるようになってきている。北海鳴子まつりも、鳴子チームよりもYOSAKOIチームが多い年もあるなど、鳴子まつりとしての独自性が保ちづらい状況である。
しかし、この類の祭りは、次第に“北海道的”な風物詩ともなりつつあり、えべつ北海鳴子まつりは、類似イベントの中では北海道内でも大規模なイベントとなっている。
令和2年度は新型コロナウイルス感染症により中止となった。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p style="text-align: center;">理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p style="text-align: center;">理由根拠</p> <p>北海鳴子まつりは令和元年度に第25回の開催を迎え、江別の夏の風物詩として定着している。新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は中止となったものの、終息後の取り組みによっては今後も成果向上の余地があるといえる。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p style="text-align: center;">理由根拠</p> <p>実行委員会では、既に野幌地区市民まつりとの同時開催を実施しているほか、グッズの販売などによる自主財源の確保に努め、補助金額減少に努めている。しかし、ステージや音響設備など、一定の固定費がかかるため、補助金の削減は、来場者等へのサービスの低下を招くことが危惧される。一方で協賛金の確保については、経済情勢にも左右されるため、大手スポンサーや企業ぐるみの参加があれば、コスト削減の可能性はあるが、現時点では難しい。</p>

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民まつり実行委員会

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市民まつり実行委員会の数	団体	3	3	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市商工労働関係事業補助金交付規則等に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた各市民まつり実行委員会に対して、まつりの中止及び継続のために要する経費から、本補助金以外の収入及び前年からの繰越金を差し引いた額の全額（上限20万円）を補助金として交付。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,250	2,250	166	1,400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民相互の交流と、地域コミュニティを醸成する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	来場者数	人	76,500	74,000	0	54,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	2,250	2,250	166	1,400
正職員人件費 (B)		千円	1,907	769	763	760
総事業費 (A+B)		千円	4,157	3,019	929	2,160

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	市民まつり実行委員会への補助金交付	市民まつり補助金（野幌地区）	166千円

事業開始背景
北国の短い夏のひとときを明るく、楽しく過ごすために多彩な行事を実施し、市民が楽しく参加できるまつりとするため、補助を開始した。
事業を取り巻く環境変化
商店街が実行委員会の中心であったことから、事業開始当初は商業振興を目的とした補助であったが、現在、商店街組合に加え、商工関連組合や自治会が協働で開催するまつりへと変容しており、市民相互の交流や地域コミュニティの醸成といった意味合いが増している。なお、江別地区は、商店街店舗の減少や後継者不足等を理由に令和元年度をもって市民まつりを終了した。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white;">上がっていない</p> <p>新型コロナウイルス感染症によりまつりが中止となったため。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 小</p> <p>市内2箇所で開催されている市民まつりを1箇所に統合するなど枠組みを変えることは、観光入込につながるとしても、主目的である市民の相互交流や地域コミュニティの醸成を妨げる結果となりかねないことから適切ではない。来場者数の興味を引くイベントを実施することで、来場者数を伸ばすことはある程度可能と思われるが、ふるさと意識の醸成や協働のまちづくりなど、各方面の取り組みが総合的に作用した結果、市民まつりの存在意義も同時に上がってくると思われ、一過性の成果向上をことさら求める類ではないと思われる。また、商店街店舗の減少、実行委員の高齢化、後継者不足により、江別地区の市民まつり及び花火大会が令和元年を以て終了していることから、成果指標が向上する余地は小さい。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white;">なし</p> <p>費用を最小限に抑えるための「市民手作り」の運営は既に行われており、現状において、コストの削減は規模の縮小につながる。</p>

事業名：江別観光協会補助金

【事業番号 82】
観光振興課 観光振興係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別観光協会

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	226	235	243	243
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業への補助金交付

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,581	2,585	2,510	3,077
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

観光パンフレットの発行、ホームページ及びSNS等による情報発信、特産品PR等の観光振興に関する事業に取り組むことができる

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	観光協会事業件数	件	9	9	9	9
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	2,581	2,585	2,510	3,077
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	6,103	10,643
総事業費 (A+B)		千円	4,106	4,122	8,613	13,720

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	観光協会事業に対し補助金交付 ・観光・物産紹介冊子の発行 ・観光PR事業 (宣伝資材の制作、ホームページ・SNS等による情報発信等) ・特産品PR事業 (各種イベント参加による広報活動等)	主な補助内訳 ・観光・物産紹介冊子の発行／1,911千円 ・観光PR費事業／495千円 ・特産品PR事業／9千円	

事業開始背景

江別観光協会は、昭和32年に賛同者20数名をもって設立され、以来市から補助金を支出している。

事業を取り巻く環境変化

不況による会員の負担感の増。
 団体旅行から個人旅行へのシフト。
 札幌を中心とする広域圏での誘客の取り組み。
 平成29年度に江別市観光振興計画が策定され、民間の観光関連団体が、組織の充実・強化を進め、観光振興事業を実施する主体となることが求められている。
 新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント等の中止。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

政策	02 産業		戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり			
取組の基本方針	03 観光による産業の振興		具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用			
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び観光客

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883
対象指標 2	観光入込客数	人	1,353,315	1,190,090	1,361,201	1,190,090

手段（事務事業の内容、手法）

歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	営業日数	日	361	362	362	362
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市をはじめ、姉妹都市グレスヤム市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	21,108	23,708	16,659	23,708
成果指標 2	アンテナショップ来店者数（市外）	人	5,857	6,511	3,972	6,511

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	7,395	7,599	7,966	8,711
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	3,815	3,801
総事業費 (A+B)		千円	11,209	11,443	11,781	12,512

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別アンテナショップGET'S管理運営 壁面黒板チョークアート 	<ul style="list-style-type: none"> 江別アンテナショップGET'S管理運営費 7,524千円 チョークアート制作関連費 238千円 電柱看板広告料 165千円

事業開始背景	
江別グレシャムアンテナショップとして、旧ヒダ工場の一部利活用を図ってきたが、商業施設として施設全体が活用されることに伴い、江別の魅力発信や観光案内等の新たな機能を加え、江別アンテナショップGET'Sとしてリニューアルした。	
事業を取り巻く環境変化	
アンテナショップの来店者数増加に向け、友好都市の特産品販売イベント等を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により営業の制限や人流の抑制がされるといった背景から、来店者数を増加させるのが難しい状況となっている。そのため、今後は新しい生活様式に沿った営業を行いながら、来店者数を増加させる取組を行うことが求められる。	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）			
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、店の営業時間が短縮されたり、外出自粛によって人流が抑制されるといった制限があったことから、昨年度と比較して来店者数が減少した。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？			
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、店の営業及び外出を行えるようになると共に、今後も、友好都市の特産品を販売するイベントや江別の観光情報の発信等を継続して行っていくことで、来店者数が増加する余地がある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
コスト	ある	理由根拠	現状、必要最低限のコストであるため、経費を削減することは、施設の管理運営に支障をきたす可能性があるため難しい。
	なし		

事業名：地域発見魅力発信事業

【事業番号 988】
観光振興課 観光振興係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

周辺市町村

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、周辺市町村の住民にPRする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	6	6	6	5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り、周辺市町村の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	186,318	194,451	189,019	180,000
成果指標 2	主要観光施設観光入込客数	人	313,985	335,981	274,249	359,000

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	6,327	3,814	4,282	11,328
正職員人件費(B)		千円	6,102	6,150	6,866	6,842
総事業費(A+B)		千円	12,429	9,964	11,148	18,170

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・地域おこし協力隊事業	・地域おこし協力隊事業	2,732千円
	・ノハナショウブ保存活用事業	・ノハナショウブ保存活用事業	614千円
	・ドライブコースご当地ナビ事業(JAF)	・ドライブコースご当地ナビ事業(JAF)	35千円
	・子どもパスポート事業	・子どもパスポート事業	300千円
	・さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業	・さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業	600千円

事業開始背景
江別市は宿泊施設が少なく、日帰りで訪れる観光客が大部分を占めている。
事業を取り巻く環境変化
国の観光ビジョン策定など観光産業に関する重要度は高まっており、広域観光やインバウンド対応、地域おこし協力隊制度の活用など新たな事業展開が必要となってきた。また、新型コロナウイルス感染症の影響から、新しい生活様式に対応した取組を展開していくことも求められている。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">地域おこし協力隊の外からの視点で地域資源を活用したフリーペーパーを制作したり、SNSによる風景写真等の情報発信を行うことで、市内周遊の促進を行い、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から外出自粛等の制限があったため、人流が抑えられ、主要観光施設の観光入込客数は伸びなかった。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由根拠	地域おこし協力隊の外からの視点で地域資源を活用したフリーペーパーを制作したり、SNSによる風景写真等の情報発信を行うことで、市内周遊の促進を行い、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から外出自粛等の制限があったため、人流が抑えられ、主要観光施設の観光入込客数は伸びなかった。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由根拠	地域おこし協力隊の外からの視点で地域資源を活用したフリーペーパーを制作したり、SNSによる風景写真等の情報発信を行うことで、市内周遊の促進を行い、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から外出自粛等の制限があったため、人流が抑えられ、主要観光施設の観光入込客数は伸びなかった。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;">新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに外出等が出来るようになれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、周辺市町村においても江別市の観光の魅力を知らない人がまだ多く存在するため、江別市の魅力の知名度を高めることで、市内への入込客数を増加させる余地がある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由根拠	新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに外出等が出来るようになれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、周辺市町村においても江別市の観光の魅力を知らない人がまだ多く存在するため、江別市の魅力の知名度を高めることで、市内への入込客数を増加させる余地がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由根拠	新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに外出等が出来るようになれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、周辺市町村においても江別市の観光の魅力を知らない人がまだ多く存在するため、江別市の魅力の知名度を高めることで、市内への入込客数を増加させる余地がある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td rowspan="2" style="width: 60%; padding: 5px;">大規模観光産業がない江別市においては、市内への誘客に向けた取組について行政のサポートが必要な状況であるため、引き続きイベントや冊子、SNSを活用した情報発信及びプロモーションを継続して行っていく必要がある段階である。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由根拠	大規模観光産業がない江別市においては、市内への誘客に向けた取組について行政のサポートが必要な状況であるため、引き続きイベントや冊子、SNSを活用した情報発信及びプロモーションを継続して行っていく必要がある段階である。	なし	
ある	理由根拠	大規模観光産業がない江別市においては、市内への誘客に向けた取組について行政のサポートが必要な状況であるため、引き続きイベントや冊子、SNSを活用した情報発信及びプロモーションを継続して行っていく必要がある段階である。				
なし						

事業名：観光振興計画推進事業

【事業番号 6224】
観光振興課 観光振興係

政策	02 産業			戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり				
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標						
対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
江別市外の人						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）						
地方創生推進交付金を活用し、江別市観光振興計画に基づき、新たな観光商品の開発やPRによる観光誘客を図るほか、計画推進のための観光人材の育成、推進体制の検討等を実施する。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	事業実施件数	件	6	9	8	7
活動指標 2	観光人材育成セミナー開催回数	回	2	3	2	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図る。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	観光入込客数	人	1,353,315	1,190,090	1,361,201	1,190,090
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	13,469	10,256	7,185	9,432
正職員人件費 (B)		千円	5,339	7,687	11,444	10,643
総事業費 (A+B)		千円	18,808	17,943	18,629	20,075

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	観光PR動画の作成 観光イラストマップの更新 市内プロモーションの開催 リアル謎解きゲームの開催 事業者向け観光セミナーの開催 サイクルツーリズムセミナーの開催 産業連携新商品開発支援補助金	観光振興計画推進事業委託料（7事業）	6,693千円

事業開始背景	
江別市の交流人口を増やし、地域経済を活性化するために、実際に江別市に来てもらい、まちを知ってもらう事が重要であるため、市民・観光関連事業者・行政など江別市の観光に携わる全ての人が連携を取り合って、平成29年度に策定した江別市観光振興計画に基づき、効果的な観光振興の取組を行うものである。	
事業を取り巻く環境変化	
新型コロナウイルス感染症の拡大により、市をまたぐ移動や不要不急の外出を控えるよう要請があり、観光需要は大きく減少した。一方で、感染拡大防止のための新しい生活様式を守りながら、密を回避し、少人数・近場・巣ごもり・オンライン・テイクアウトといったキーワードでの消費需要が高まっている。	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症の蔓延によりイベントの中止や不要不急の外出を控える要請があったものの、令和2年度から大型複合書店を集計に含めたこともあり、観光入込客数は増加した。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>観光振興計画に基づいた事業は、市全体の観光振興・地域経済等の活性化につながるため、市民、民間、行政が役割を分担しつつ、連携を取り合い、自主的・積極的に取り組んでいくことで、更なる観光振興の向上へつながる余地がある。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>観光を取り巻く状況は大きく変化しており、観光振興計画に基づく事業の推進により成果指標である観光入込客数の維持または増加を図るには、一定のコストが必要である。</p>

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び観光客

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市民及び観光客（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市民交流施設内にある江別市民活動センターにおいて観光案内業務を委託し、当市の観光の魅力を発信・プロモーションする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	営業日数	日	0	94	359	359
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市の観光情報等、魅力を発信し、市民や観光客の情報収集の場とする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	観光案内利用者数	人	0	144	321	399
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	0	1,057	2,570	2,592
正職員人件費 (B)		千円	0	1,537	763	760
総事業費 (A+B)		千円	0	2,594	3,333	3,352

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	観光案内業務委託	観光案内業務委託料 2,570千円	

事業開始背景	
<p>平成30年度に、市民や市民団体、有識者等で構成された「市民交流施設利活用検討会」にて、市民交流施設の利活用について検討され、提案のひとつとして、江別市の魅力を発信するための、観光案内について提案があった。</p> <p>また、市民交流施設の利活用案に対するパブリックコメントにおいても、観光情報の提供を望む意見が市民から寄せられた。</p> <p>市としては、市民交流施設にて、市民や隣接地の宿泊施設などを利用する観光客に向けて、当市の観光情報を提供することは、行政サービスの向上及び情報発信の強化に繋がることから、令和元年12月に開館した市民交流施設に観光案内業務を委託したものである。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>令和元年度12月に市民交流施設が開館し、JR野幌駅に近く、ホテル「リボーン野幌」にも隣接していることから、観光客、ホテル宿泊者、市民等多様な利用者に向けて江別市の観光情報、イベント情報、特産品等情報発信を行い、行政サービスの向上を図るため、観光案内業務委託を開始した。</p>	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）	
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
<p>成果動向及び原因分析</p> <p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客や施設利用者が減少し、観光案内利用者数は伸びていない。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
<p>成果向上余地</p> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症が終息し、従来通りの人の往来や各種市内イベント等の開催により、向上が期待できる。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
<p>コスト</p> <p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>必要最低限の委託費を計上しており、削減することは施設の管理運営に支障をきたすため困難である。</p>

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 2年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・江別市外の人
- ・江別市民

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	江別市外の人(把握困難)	人	0	0	0	0
対象指標 2	江別市民	人	0	0	119,883	0

手段(事務事業の内容、手法)

- ・市内宿泊施設での特産品プレゼントなどの取組で市の魅力を発信する。
- ・スタンプラリー事業により市民及び近郊住民による消費喚起を図る。
- ・まちを活気づけるためのイベント等を開催する。
- ・令和2年8月20日付2観第46号「令和2年度NOPPOROイルミネーションイベントへの補助金交付について」及江別市商工労働関係事業補助金交付規則に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	事業実施件数	件	0	0	4	0
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

新型コロナウイルス感染症の行動制限等により影響を受けた地域経済を活性化させるため、市を訪れる人や関心を持つ人を増やし、また、市民が地元で買い物する流れやきっかけをつくることで、観光や物産の需要を創出する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	宿泊応援キャンペーン特産品配布数	個	0	0	1,050	0
成果指標 2	パン&スイーツスタンプラリー参加人数	人	0	0	1,758	0

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	0	0	11,512	0
正職員人件費(B)		千円	0	0	8,392	0
総事業費(A+B)		千円	0	0	19,904	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	江別宿泊応援キャンペーン事業 パン&スイーツスタンプラリー事業 市内活性化事業	江別宿泊応援キャンペーン事業費	2,238千円
		パン&スイーツスタンプラリー委託料	5,283千円
		NOPPOROイルミネーション補助金	2,000千円

事業開始背景
国からの交付金を活用して、新型コロナウイルス感染症の行動制限等により影響を受けた地域経済を活性化させるため。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響で、市をまたぐ移動や不要不急の外出を控えるよう要請があり、観光や物産の需要が減少した。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	理由根拠	観光や物産の需要を創出したことで、地域経済が活性化した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	理由根拠	事業期間が限定的であり、今後直接的な成果を計ることができないため。
	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	理由根拠	必要最小限のコストで実施している。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	

事業名：消費者保護育成事業

【事業番号 6202】

商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・江別消費者協会への消費生活相談業務委託
- ・江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託
- ・江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。
- ・消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	年間相談開催日数	日	244	240	243	242
活動指標 2	消費啓発講座等開催回数	回	20	17	3	17

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

被害の未然防止や被害後の救済の支援を行うことで、市民が安心・安定した消費生活を送ることができる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	消費生活相談受付件数	件	637	689	721	687
成果指標 2	消費啓発講座等参加者数	人	948	739	58	822

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	7,186	7,463	6,481	6,719
正職員人件費(B)		千円	3,814	3,844	1,526	3,801
総事業費(A+B)		千円	11,000	11,307	8,007	10,520

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・江別消費者協会への消費生活相談業務委託 ・江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託 ・江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談業務委託 3,815千円 ・消費生活コーディネーター業務委託 308千円 ・江別消費者協会補助金 2,358千円 	

事業開始背景
消費者保護法制の改正に伴う消費者の保護及び自立支援
事業を取り巻く環境変化
消費生活環境の多様化・複雑化 高度な情報化社会へと発展した昨今、消費者を取り巻く環境も複雑なものへと変化しており、消費者の利益を適正に保護するため、消費生活相談業務や啓発活動等の重要性は高い。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	理由 根拠
	相談内容は複雑化しており、解決に困難を要する案件が増加している。そのため、消費者のセーフティネットとしての重要性が高い。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	理由 根拠
	通信技術の発達により、架空請求や通販トラブルが増加することが見込まれ、相談件数は増加すると思われる。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある なし	理由 根拠
	消費生活に関する広範な問題を取り扱う唯一の機関であり、コストの削減は難しい。	